

- ⑤英語、西語、仏語については、職種別技術用語集が図書資料室に常備されており、閲覧可能（持ち出し不可）。また、以下のデジタル専門用語集も配置されており、各自でインストール可能（Windowsのみ対応）。

英語：「理数科教師」「コンピュータ技術」「スポーツ部門」

西語：「医療関係」「スポーツ部門」

仏語：「医療関係」

(2) 教室の利用

- ①教室は清潔に保つように心掛け、私物を放置しない。特にPC、金品などの貴重品は放置厳禁。個人で責任を持って管理する。
- ②教室内外の備品を移動、或いは使用する場合は、使用后必ず元の場所に戻す。
- ③掲示物は、ボードを利用する。止むを得ず壁に直接貼る場合は、塗装を痛めないように注意する。セロハンテープは使用禁止。
- ④教室を最後に出る人は窓の施錠を確認し消灯する。入口の扉は必ず開放する。
- ⑤視聴覚機器は必ず電源を切り、コンセントからプラグを抜く。
- ⑥網戸の開閉は禁止。
- ⑦早朝学習は午前5時30分から研修棟にて可能であるが、他のボランティア候補者の迷惑にならないように配慮する。
- ⑧教室は学習する場であることを十分に認識し、他者の学習を妨げるような行為は厳に慎む。語学自習や夕食後の自習時間であっても、他の教室にも聞こえるような音楽や談笑、また、楽器の演奏等は禁止とする。
- ⑨自分のクラス以外の教室への出入りは、盗難・紛失等の問題回避のため、必要がない限り入室を控える。
- ⑩英語・西語・仏語教室前のホワイトボードは、同一言語内で学習効果を高めることを目的に設置しているため、学習言語のみで利用する。

(3) 備品、消耗品

- ①テクニカルクラスにて使う模造紙などの消耗品は、各自で準備する。
- ②授業中に講師が使用する消耗品（ボードマーカー等）は、講師が手配する。
- ③ホワイトボード・イレイサーは、汚れたら水洗い。教室内の美化に努める。
- ④教室内での喫茶は可能であるが、湯のみやお茶等は各クラスで購入する。
- ⑤建物全体の電気容量が限られており、現在設置されている視聴覚機器（テレビ、ビデオ、ラジカセ）やPC、プロジェクター以外の電気機器は教室で使用禁止とする。

(4) 教室内でのPC使用

- ①授業中は、語学講師の指示に従う。
- ②自分のPCを使用し音楽等をスピーカーで流すことは控える。
- ③教室内のLANターミナルは講師用に設置されているため、ボランティア候補者が使用する際は講師の了解を得る。また、無線LAN機器の新たな設置は禁止とする。加えて、既に設置されている機器・アンテナ等は絶対に触れない。

5. 自己学習について

(1) 語学自習時間

- ①語学の授業で学習したことの復習と定着の時間にあてる。
- ②楽器の練習や筋トレ、またスポーツやダンス等のレクリエーション活動等を行わない。語学の学習に専念する。
- ③語学授業時間に準ずるため、緊急時を除き、スタッフルームでの対応は行わない。

(2) 自己学習

言語を習得するためには、自己学習（復習）が重要である。クラス全体の進度に遅れないよう、自己学習に努める。夜の自主計画の時間帯（19:00～22:30）には語学の自己学習を最低2時間は行うようにする。

学習事項の習得に著しい遅れが生じ、訓練の修了が危ぶまれると語学講師及び訓練所スタッフが判断した場合、外出・週末外泊等について制限することもある。

6. 語学相談について

日々進んでいく語学学習の中で生まれる不安について相談する時間を設けている。

日時：水曜日 11:45～12:50（12:30までに入室）

金曜日 11:45～12:50（12:30までに入室）

※祝日、試験当日は除く

場所：よろず相談室

担当： — 語学訓練スーパーバイザー(LTS)

【語学訓練スーパーバイザーより一言】

これから70日間にわたる派遣前訓練が始まります。

ここで学ぶことはそれぞれの任国で生活や活動を行っていくための大きな助けとなるはずですが、もちろん語学訓練もその一環としてあります。

皆さんの中には外国語学習が苦手という方もいるかもしれません。しかし、不安や萎縮は外国語習得の妨げになります。語学学習に関する疑問や問題があれば、臆することなく担当講師、語学スタッフに相談してください。我々はより良い学習環境を整えるために皆さんをサポートしていきます。

最後に一つ。語学訓練はそれ自体で完結しているわけではありません。赴任後の現地語学訓練とそれに続く活動のための第一歩と考えて臨んでください。

7. 語学関連行事について

語学関連行事一覧

日付	時間	行事	場所
4月11日(金)	10:50~11:40	入所時語学オリエンテーション	講堂
	13:00~14:50	クラス編成テスト	各指定場所
5月12日(月)	8:45~14:50	中間試験	各指定場所
	15:10~16:00	中間時オリエンテーション	講堂
5月21日(水)	12:30~12:45	第1回語学交流会オリエンテーション	セミナームA
5月30日(金)	12:30~12:45	第2回語学交流会オリエンテーション	セミナームA
5月31日(土)	13:00~16:00	語学交流会	各指定場所
6月13日(金)	8:45~14:50	最終試験	各指定場所
	15:10~16:00	修了時オリエンテーション	講堂
講師申請日	語学授業時間	Half Day Trip	所外

Half Day Trip

講師の申請で実施

狙い

教室での学習内容を踏まえ、所外で生きた会話練習を行うことにより会話能力の向上を目指す。

実施内容・方法

午前3時間（8：45～11：40）、または午後2時間（13：00～14：50）の授業時間の範囲内で、駒ヶ根市または近郊での語学授業を実施。授業の進捗状況を担当講師が判断し計画する。

※ 講師が実施3日前までに申請する。

留意点

- ① クラスの進捗を鑑み、講師の判断、指導のもと実施される。
- ② 出発時および帰所時に JICA 事務室へ報告する。
《出発時：代表者が緊急連絡用の携帯電話番号をスタッフに伝達する。全員居室プレートを「Half Day Trip」の所に移動し、裏返す。》
《帰所時：戻った旨を JICA 事務室に報告する。》
《万が一、帰所時間に間に合わないような場合は代表者が訓練所へ連絡を入れる》
- ③ 交通費等の費用は全て個人負担とする。
- ④ グループから離脱するなど、勝手な行為及びボランティア候補者としての品位を損なうような行為をしない。私服も可とするが、節度ある服装を心がける。
- ⑤ 危険な行為は避け、交通事故等には充分注意し、健康保険証を携行する。
- ⑥ スポーツ・映画・温泉・千畳敷等、学習に不相当と思われる場所の訪問は不可。
- ⑦ 飲酒厳禁。

語学交流会

必修

5月31日(土)
各指定場所

選択

狙い

語学講師と異なるゲストの方々と、学習言語を使って会話することで学習内容の定着を図るとともに、自分の語学能力を再確認し、更なる努力に繋げる機会とする。

📖 行事の内容

13:00~14:50 クラス別交流会

15:00~16:00 言語別交流会

- ◆ 各クラス原則1名のゲストとクラス別で交流を行う。
- ◆ JICA ボランティアを志した動機や任国で行いたいことなどを、ディスカッションする。
- ◆ 訓練第8週目午後の課業時間3時間で実施する。
- ◆ より多くのゲストと交流するため、言語別交流を行う。

任国では様々な発音、言い回し、会話のスピードがある。訓練所では語学講師一名のみと関わる時間が多いため、その違いを体験する機会とする。また、日本人とは異なる考え方、文化、習慣に触れ、赴任前に派遣地域の雰囲気味わうとともに会話の実践練習を行う。

📖 ゲストについて

ネイティブスピーカーである日本在住の社会人や留学生をゲストとして招待する。ゲストは日々のスケジュールの空いた時間を利用して駒ヶ根訓練所に来所するので、喜んで頂けるような有意義な交流会とする。

🎯 理解して頂きたい点

- 必ずしも派遣予定国のゲストが来所するとは限らない。
- ゲストの事情により、当日までゲスト変更の可能性あり。

📅 実施手順

※5月21日(水)

- ・12:30 第一回語学交流会
オリエンテーション

※5月30日(金)

- ・12:30 第二回語学交流会
オリエンテーション

※5月31日(土)

- ・語学交流会当日

★クラスから一名代表者を選出し、その代表者を集め5月21日(水)12:30から「語学交流会オリエンテーション」(場所:セミナームA)を行う。その際に進め方等について詳しく説明する。

駒ヶ根訓練所学習言語一覧

目的：実践的コミュニケーションのための基礎的かつ機能的な知識、およびその運用力をつける。

言語	訓練中学習する言語について	現地語学訓練等について
English	EP テストによるクラス分け後、若干の調整期間を設ける。午前はクラスレベルに併せた授業を行う。午後はテクニカルクラス授業で技術表現・プレゼンテーションを習得する。	派遣国により異なる。 (現地語のみ・英語のみ・現地語+英語)
Spanish	入所時試験後仮クラス設定、若干の調整期間を設ける。中南米公用語のスペイン語を基礎から習得する。 中間試験後、テクニカルクラス（タジェール）を複数回実施する。	引き続き同言語を学習する。
French	入所時試験後仮クラス設定、若干の調整期間を設ける。西・中央アフリカの公用語または第二公用語であるフランス語を基礎から習得する。 中間試験後、テクニカルクラス（アトリエ）を複数回実施する。	派遣国により異なる。 (現地語のみ・フランス語のみ・現地語+フランス語)
Russian	ウズベキスタン・キルギス国公用語を、キリル文字も含め基礎から習得する。	派遣国により異なる。 (ロシア語・ウズベク語・キルギス語)
Bengali	バングラデシュ国標準語を、文字も含め基礎から習得する。	引き続き同言語を学習する。
Nepali	ネパール国標準語を、文字も含め基礎から習得する。	引き続き同言語を学習する。
Sinhalese	スリランカ国標準語を、文字も含め基礎から習得する。	引き続き同言語を学習する。
Uzbek	ウズベキスタン国標準語を、キリル文字も含め基礎から習得する。	引き続き同言語を学習する。
Kyrgyz	キルギス国標準語を、キリル文字も含め基礎から習得する。	引き続き同言語を学習する。

各言語 挨拶一覧

日本語	英語	スペイン語	フランス語	ロシア語	ベンガル語	ネパール語	シンハラ語	ウズベク語	キルギス語
<i>Japanese</i>	<i>English</i>	<i>Spanish</i>	<i>French</i>	<i>Russian</i>	<i>Bengali</i>	<i>Nepali</i>	<i>Sinhalese</i>	<i>Uzbek</i>	<i>Kyrgyz</i>
おはよう Ohayou	Good morning	Buenos días ブエノス デイアス	Bonjour ボンジュール	ド オーフ ラエ ウートラ	アッサラーム アライクム	ナマステ	スバ [°] ウデー [°] サナツ ウエーワー	アッサローム アライクム	クトマント [°] ウー タンゲン [°] グ [°] ス [°] メネン
こんにちは (気軽な挨拶) Konnichiwa	Good afternoon (Hello)	Buenas tardes (¡ Hola !) ブエナス タルデス (オラ)	Bonjour (Salut !) ボンジュール (サリュウ)	スト [°] ラースト ブ イチエ	(答える時) ワーアライクム アッサラーム		ア [°] ユー [°] ホ [°] ウワン	(答える時) ワーレイキム アッサローム	サラマツトウ ス [°] ブ [°] ブ [°] ー
こんばんは Konbanwa	Good evening	Buenas noches ブエナス ノーチェス	Bonsoir ボンソワール	ト [°] フ [°] リイ ヴ [°] エチエル			スバ [°] センテ [°] ワツ ウエーワー		クトマント [°] ウ ケチニ [°] ス [°] メネン
お元気ですか? (気軽な挨拶) Ogenkidesuka	How are you?	¿Cómo está? コモ イスタ	Comment allez-vous? (ça va ?) コマン タレヴ [°] ー (サウ [°] ア)	カク テ [°] イ [°] ーラ?	アフ [°] ニ? ケモアチエン?	サンツアイ フヌフツア?	セハ [°] サニ [°] ーハ [°] コホマダ [°] (コホマダ [°])	カンタ [°] イス	カンタ [°] イスイス [°]
元気です (あなたは?) Genkidesu	I'm fine thank you (and you?)	Muy bien gracias ムイ ビエン グ [°] ラシアス	Très bien, merci (et vous?) トレビ [°] アンメルシー (エ ヴ [°] ー)	ハラシヨ	アミ [°] ハ [°] ロ [°] アチ (アフ [°] ニー)	サンチャイ ツウ (タハ [°] イン ニー?)	ホンダイ	ヤクシ	ジ [°] ヤクシウ
～さん (男性) (女性・既婚) (女性・未婚) ～san	Mr. ～ Mrs. ～ Miss. ～	Señor ～ Señora ～ Señorita ～ セニョール ～ セニョーラ ～ セニョリータ ～	Monsieur ～ Madame ～ Mademoiselle ～ ムッシュ [°] ー ～ マダム ～ マド [°] モワゼル ～	ガ スハ [°] テ [°] イン～ (男性) ガ スハ [°] ジ [°] ア～ (女性)	～シャハブ [°] (男性のみ) ～アハ [°] (女性)	～ジ [°] (～さん)	～マハツティア [°] (男性) ～ノ [°] ナ (女性)	ジ [°] ヤノフ [°] ～ (男性) ～ホ [°] ニム (女性) ～ホ [°] (女性)	～ムルザ [°] (男性) ～アイム (既婚女性) ～クウス [°] (未婚女性)
また会いましょう Mataaimashou	See you again	Hasta la vista アスタ ラ ヴ [°] イスタ	A bientôt アビ [°] アント	ハ [°] カー	アハ [°] ー ル テ [°] カ ホバ [°]	フェリ ヘ [°] タオン	ハ [°] ツセ ハンブ [°] エム	キョーリン ギ [°] ユンチャ	クーリュシュ ク [°] チュ
おやすみなさい Oyasuminasai	Good night	Buenas noches ブエナス ノーチェス	Bonne nuit ボン ニュイ	スハ [°] コイノイ ノーチイ	シュホ [°] ラツトリ	スハ [°] ラトウリ	スハ [°] ラトウリヤツ ウエーワー	ハイルリトウン	ジ [°] ヤクシウ ジ [°] ヤチウニ [°] ス [°]
ありがとう Arigatou	Thank you	Gracias グ [°] ラシアス	Merci メルスイ	スハ [°] シーバ [°]	ドンノハ [°] ー ト [°]	ダ [°] ンニヤハ [°] ー ト [°]	イスツテウティ	ラフマツトウ	ウラフマトウ

平成26年度1次隊 語学講師一覽

Language	Name	RM	Ext No.
Spanish	Mr.	1	501
	Mr.	2	502
	Ms.*	3	503
	Mr.*	4	504
	Ms.	5	505
	Mr.*	6	506
	Mr.*	7	507
	Ms.*	8	508
	Ms.	9	509
	Mr.	10	510
	Ms.	32	532
	Mr.	33	533
English	Ms.	15	515
	Mr.	16	516
	Mr.	17	517
	Mr.	18	518
	Mr.*	19	519
	Ms.*	20	520
	Mr.*	21	521
	Ms.	23	523
	Ms.	24	524
	Mr.	25	525
	Mr.	26	526
French	Ms.	11	511
	Mr.	12	512
	Ms.*	13	513
	Mr.	14	514
	Mr.	28	528
	Ms.	29	529
	Ms.	30	530
	Mr.	31	531

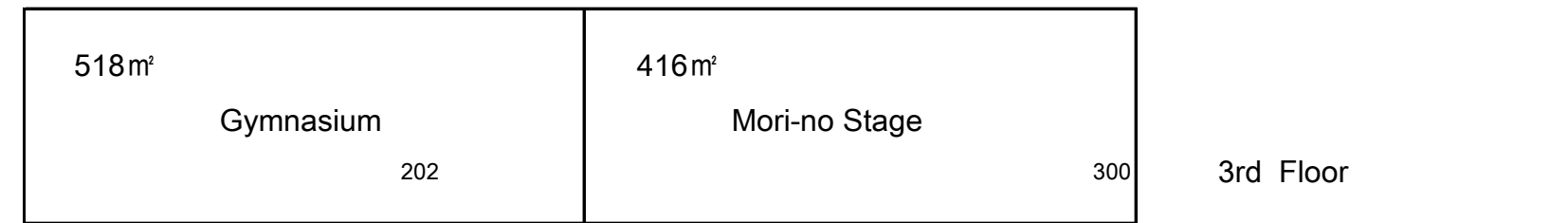
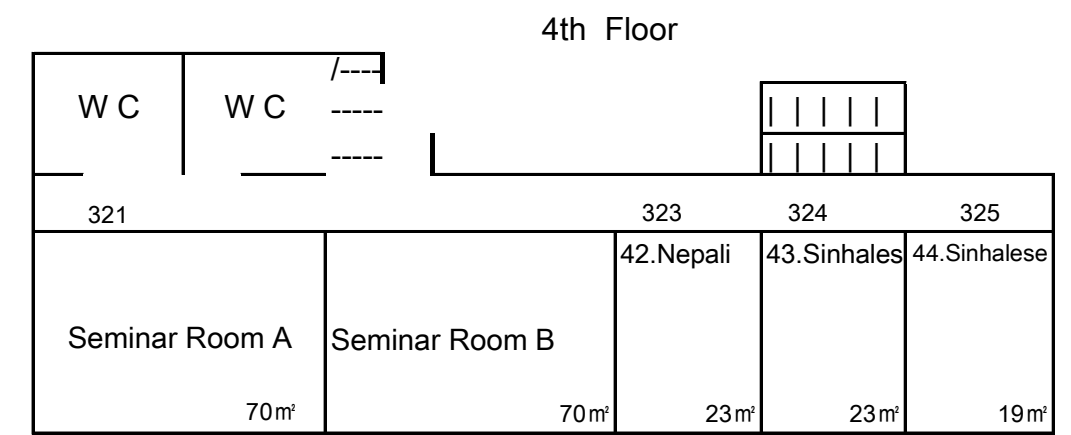
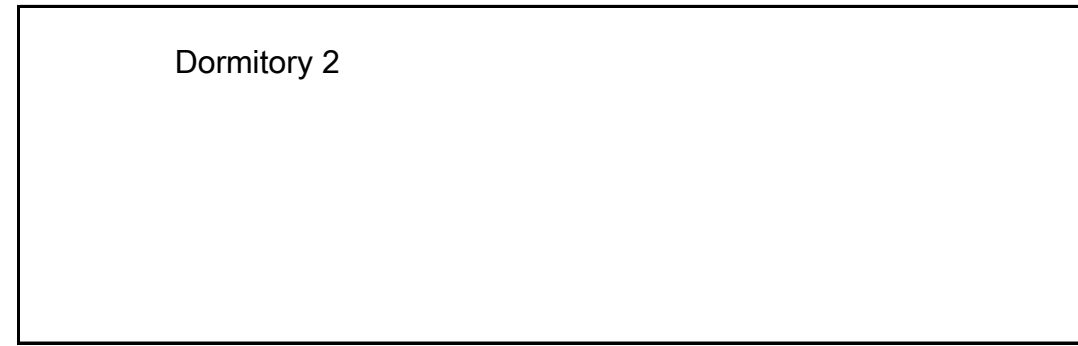
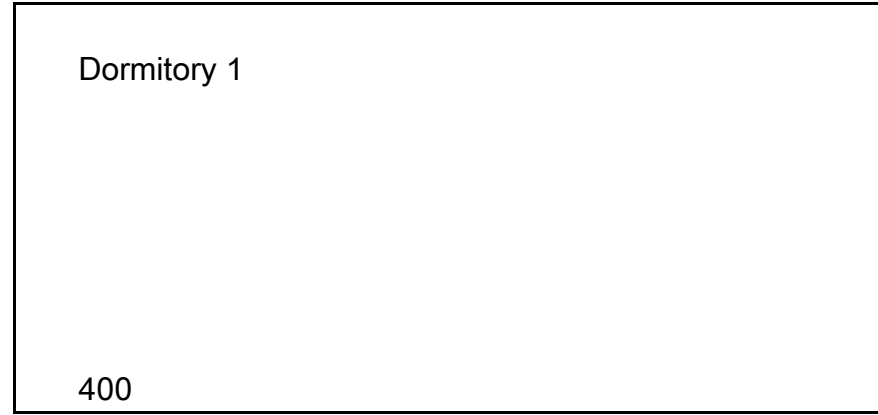
Asterisk (*) beside name indicates he/she is a JICA Directly Contracted Instructor.

Language	Name		RM	Ext No.
Russian	Ms.		37	302
Bengali	Mr.		39	304
Nepali	Ms.		40	305
	Mr.*		41	306
	Mr.		42	323
Shinhalese	Ms.		43	324
	Mr.*		44	325
Uzbek	Mr.		23	523
Kyrgyz	Ms.		38	303

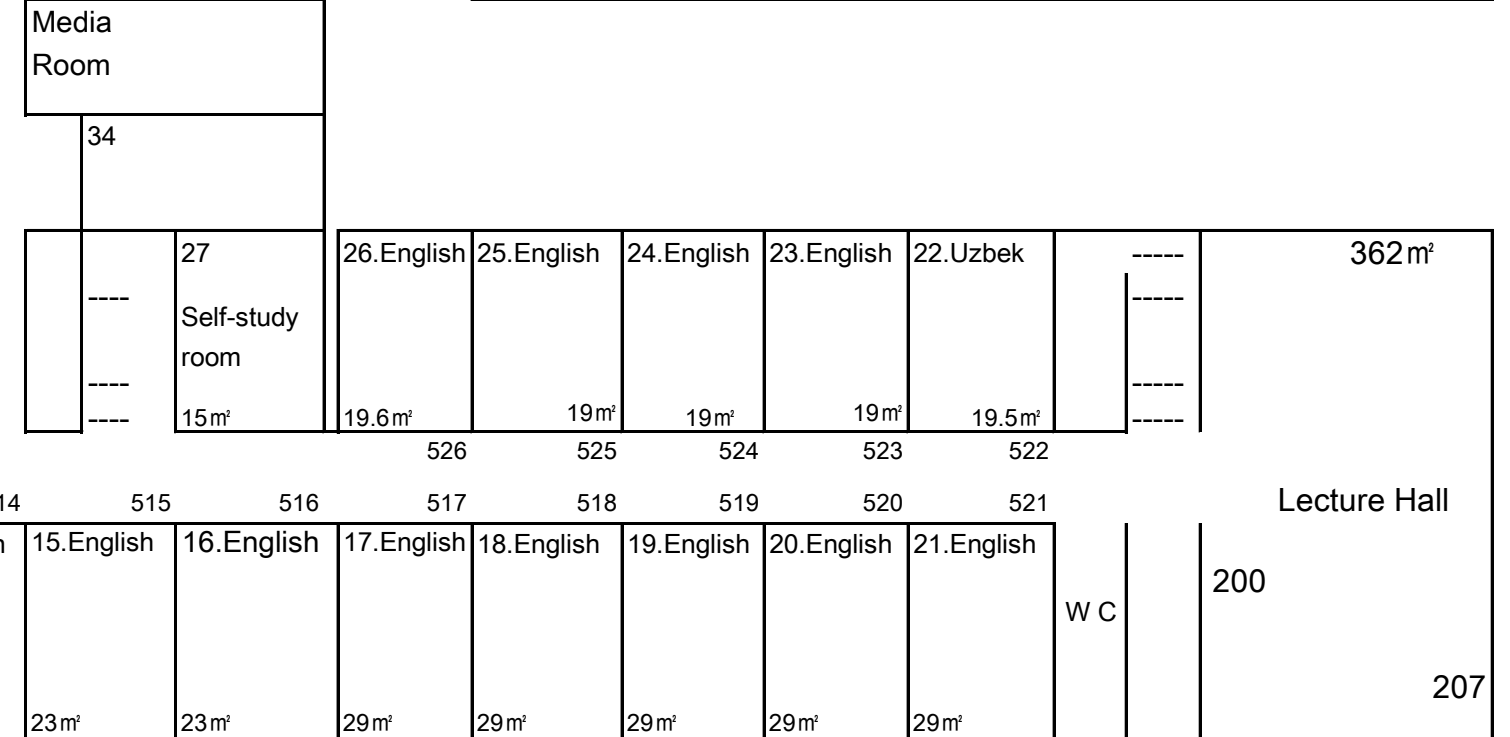
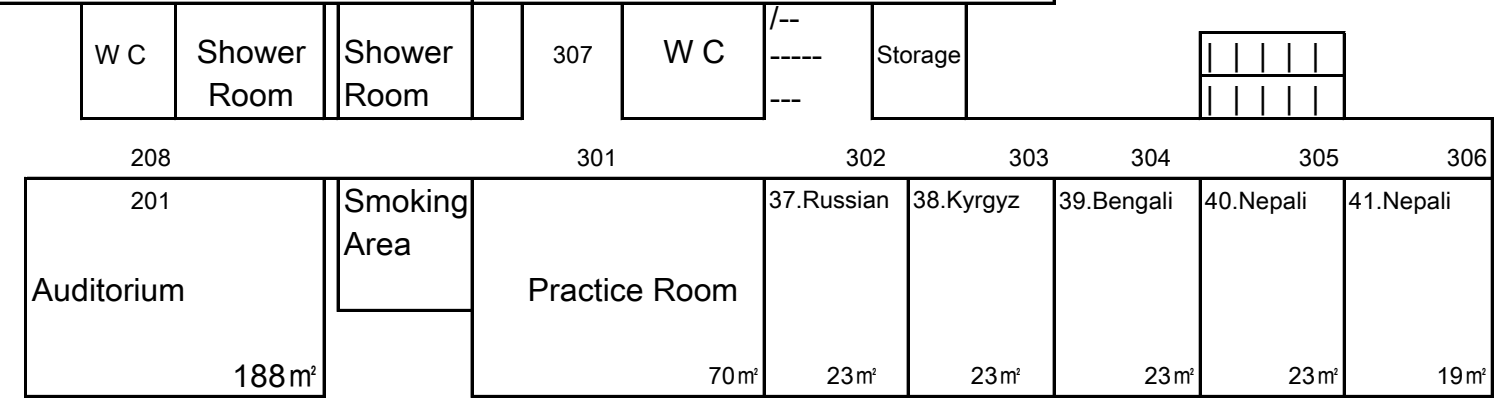
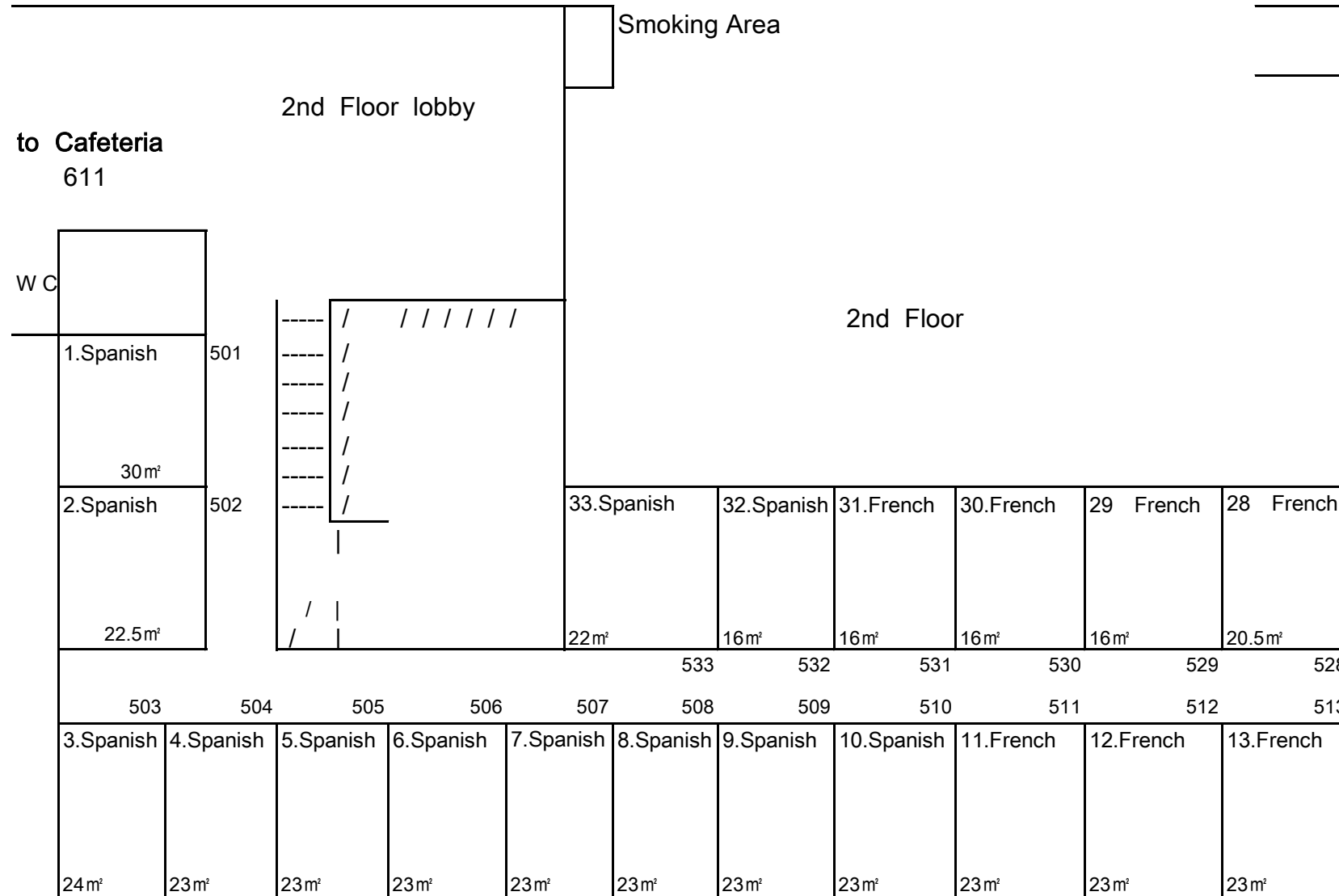
Asterisk (*) beside name indicates he/she is a JICA Directly Contracted Instructor.

Floor Information

1st Group FY2014



13



2F

語学能力自己評価表

レベル	聴く	話す	読む	書く	
上級	1	母語に近い能力がある。	母語に近い能力を持ち、教養のある話し方をすることができる。	母語に近い能力で読むことができる。	母語に近い幅広い知識を持ち、自然で正しい文章を書くことができる。
	2	大学の講義や広範囲な話題を十分に聴きとることができる。	日常の場面や専門分野についてほとんど困難なく、的確・具体的に話すことができる。	専門書・一般雑誌・新聞報道記事・社説などをほぼ正確に読むことができる。理解できる範囲は非常に広い。	文法は十分な知識があり、正しく使いこなせる。報告書を独力で書くことができる。
	3	複雑な内容をもつ討論や講義を除き、会議の進行や伝達事項を正確に聞き取ることができる。	専門分野や興味のあることは、自由に話すことができる。討論や説明も可能である。複雑なことや抽象的な表現はまだ使いこなせない。	自分の分野の専門書や興味のある分野は容易に理解できる。しかし、複雑な表現を理解するには辞書が必要である。	辞書や参考書を用いて専門分野や簡単な報告書を書くことができる。
中級	4	日常や職場での伝達の要旨はほぼ正確に理解できるが、複雑なことは繰り返して言ってもらう必要がある。	一般の事柄については、あまり困難なく話すことができるが、まだ正確さ・滑らかさ・使用語彙の適切さに欠ける。	自分の分野の専門書は多少問題はあるが、ほぼ理解できる。しかし、その他の分野では辞書を必要とする。	文法の知識は十分に持っているが、長い複雑な表現になると使いこなすことができない。
	5	普通の速さで話される日常の会話をほぼ理解できるが、しばしば繰り返して言ってもらったり、説明を求める必要がある。	日常の会話や活動分野については簡単な語句を使って話すことができるが、適切な語彙の使用や流暢さには欠ける。	活動分野の初歩的な文書やビジネス文書を辞書を使用し、時間をかければ理解することができる。	文法の基礎知識はある。文例や辞書などを使って報告書を書くことができるが、語句の使用が適切でないことがある。
	6	普通の速さについて行けなくなるが、日常会話や活動現場での会話は聴きとることができる。	限られた語彙や表現を使い会話はできるが、なめらかではない。	簡単な手紙文やEメールを読みとることができる。	文法の基礎力は弱く、語彙量は少ない。初歩的な文は書くことができる。
初級	7	日常会話の断片的な言葉や、活動現場での限られた指示、命令などの表現は聴きとることができる。	簡単な語句を使って必要最低限の要求を満たす会話をするすることができる。	写真や図が多く平易な単語・文で構成された掲示物・メモなどは読むことができる。	語彙量は乏しく、語順に間違いが多い。単純な文や単語だけのメモ類は書くことができる。
	8	簡単な単語や挨拶などの決まり文句がわかる。	日常の挨拶など、決まり文句は言えるが、ジェスチャーによる表現に頼る。	ごく限られた単語は読むことができる。	文法はほとんど判らない。限られた単語のみ書くことができる。

場面別事例表 (JICAボランティア)

自己診断ポイント 5.十分にできる 4.できる 3.できるが、状況によっては不安を感じることもある 2.少しはできる 1.できない

学習言語:

講師名:

派遣国:

氏名:

項目	目的	場面	必要な語学力	派遣前訓練期間			派遣国 着任時	現地語学 訓練後
				入所時	中間試験後	修了試験後		
日常会話	現地の人々の心情を理解し、共に生活することができる。	ホームステイ先	自分のプロフィール(趣味、家族)や任国に来た目的を説明できる。					
		関係省庁	自分の専門(学歴・職歴)のことや配属先での活動内容、抱負を説明できる。					
		配属先	着任時に自分の活動やJICAボランティア事業の説明ができる。					
		電話	日常生活に必要な、基本的な電話の対応ができる。					
		買い物	生活必需品を市場や小売店で購入することができる。					
		食事	ファーストフード店、レストランで食事ができる。レストランでのマナーを知っている。					
		銀行	銀行口座開設、送金、小切手・外貨の換金をすることができる。					
		交通機関	交通標識の意味を理解し、バス、電車(地下鉄)、タクシーに乗って目的地に行くことができる。					
		病院	病院での受診(軽度な症状)するために必要な表現ができ、ひとりで受診することができる。					
		郵便局	手紙や小包の発送や受け取りをすることができる。					
		情報	テレビ、新聞、ラジオで一般情報や天気予報を理解できる。					
		交渉	住居契約を理解し、家賃の支払い方法、領収書の依頼、クレーム等をすることができる。					
		予約	ホテル、旅行代理店等で予約をすることができる。					
		メディア	自分でインターネットのプロバイダー契約ができる。					
危機管理	緊急時に適切な行動ができる。	緊急時の備え	自分の住んでいる場所を説明できる。また、緊急時の連絡方法と連絡先を現地の人々に説明できる。					
		犯罪・交通事故	自分の身分を説明し、警察に通報、被害の状況を説明することができる。					
		暴動・政変・地震	近所の人から情報を得る。新聞やテレビ、ラジオで情報を入手し、状況を把握することができる。					
隊員活動	配属先の人々との人間関係を構築できる。	着任	自分が来た理由を説明し、2年間の抱負を述べられる。					
		業務開始	同僚、上司の名前を覚えて配属先の組織概要を理解することができる。					
		勤務	休暇、欠勤時の配属先に対する申請や連絡をすることができる。					
		会議	職場の会議に参加して自分の意見を言うことができる。					
	相手のニーズを的確に把握して活動することができる。配属先の人々を巻き込んで活動することができる。	活動計画	職場の関係者と自分の活動計画を立てることができる。					
		交渉	同僚や上司に自分の活動計画を説明し、活動が現実するよう交渉できる。					
		報告	自分の活動状況を口答や文書で配属先に報告することができる。					
		クレーム	問題が生じた特にクレームの方法を知っている。					
		書類・事務処理	自分の活動に必要な簡単な礼状、託状、事務連絡を作成できる。					
		専門知識	任国の言語で自分の専門分野のことを理解し、説明できる。					
文化交流	相手国と日本の歴史、文化の違いを理解して交流できる。	任国の文化	任国の歴史や文化を説明できる。					
		日本の文化	日本の生活習慣や伝統文化(茶道、華道、武道等)について説明したり、披露できる。					
		宗教	任国の宗教を理解し、日本の宗教について説明できる。					

Situational Language Skills: Self-Diagnosis Check List

Self-diagnosis items Criteria : 5. Excellent 4. Good 3. Fair 2. Poor 1. Very poor

				Pre-dispatch training			Upon arrival at host country	After In-country language training							
				Upon entrance to KTC	Upon Mid-exam	Upon Final exam									
Target Language :				Instructor :				host country :				name :			
Item	Objective	Situation	Desired Proficiency Level												
Daily Conversation	Able to understand the feelings of local people and get along with them.	homestay	Can introduce yourself including topics on your family, hobbies, and explain motivation to join the JICA volunteer.												
		government office	Can explain your technical field duties including your educational and professional background and express your aspirations.												
		workplace	Can explain your field of activity and JICA volunteer.												
		telephone dialogue	Can hold basic telephone conversations necessary for daily life.												
		shopping	Can buy daily necessities at markets or stores.												
		restaurant	Can order food at restaurants and know restaurant etiquette and manners.												
		banking	Can open bank accounts, remit checks, convert foreign currencies.												
		transportation	Can understand traffic signs, ride the bus, train or taxi to get to destinations.												
		hospital	Can consult a doctor with appropriate expressions by yourself.												
		post office	Can buy stamps, send and receive letters and parcels.												
		announcement	Can understand announcements or general information and weather forecast on TV, radio, newspaper .												
		negotiation	Can understand residence contract, pay rent, ask for receipt, file complaints.												
		reservation	Can reserve a hotel room and ask at travel agency.												
media	Can sign up with a internet provider by yourself.														
Risk Management	Able to cope with emergent situations and natural disasters.	preparation for emergency	Can explain where you live and how to contact emergency address.												
		crime , traffic accident	Can explain your status, report to police and explain damages.												
		riot, coup detat, earthquake	Can obtain information from neighbors, newspaper,TV or radio and grasp the situation.												
Volunteer Activities	Able to establish relationship with fellow workers.	arrival at your post	Can explain why you are assigned here and speak of your aspiration.												
		starting at workplace	Can remember colleagues' names and understand the hierarchy of the organization.												
		at work	Can apply for time off and vacations.												
	Able to act according to the local people's needs and involve colleagues in your activities.	meeting	Can state your opinions in meetings.												
		plans of action	Can make project action plans with your colleagues.												
		negotiation	Can explain and negotiate your own action plans to peers and superiors and implement the plans.												
		report	Can report your activities orally and in writings at the workplace.												
		complaints	Can file a complaint when a problem arises.												
		clerical	Can write the thank you letter, letter of entrust, and letter of administrative information.												
expert	Can understand and explain your technical field duties in the target language.														
Cultural Exchange	Able to understand the differences between the two countries and exchange ideas.	culture of the host country	Can explain the host country history and culture.												
		Japanese culture	Can explain or perform aspect of Japanese culture. (tea ceremony, flower arrangement, martial arts, etc)												
		religions	Can understand the host countrys religions and explain those of Japan.												

訓練資料

語学関連実施要領

【SV】

平成 26 年度第 1 次隊

駒ヶ根青年海外協力隊訓練所

JICA KOMAGANE TRAINING CENTER

目 次

語学について	1
1. 概要	
2. 授業について	
3. 語学クラスについて	
4. 各種教材および教室備品	
5. 自己学習	
6. 語学相談	
7. 語学関連行事について	
語学関連行事一覧表	
Half Day Trip	
各種表	
駒ヶ根訓練所学習言語一覧	7
各言語挨拶一覧	8
語学講師一覧	9
語学教室配置図	10
語学能力自己評価表	11
場面別事例表	12

語学訓練について

1. 概要

(1) 目的

JICA ボランティアの派遣前訓練は、派遣国において現地の人とともに生活し、協力活動を実施する上で必要な知識・能力を身に付けることを目的とする。その一環として実施される派遣前語学訓練では、特に実践的コミュニケーションのための基礎的且つ機能的な知識、及び、その運用力を身につけることを目的とする。

(2) 学習に当たっての姿勢

- ①講師から与えられたものを消化することのみならず、積極的に自ら学ぶ姿勢を持つ。声に出してその日の復習、反復練習をすることが不可欠である。
- ②語学学習は教室のみで実施されるものではなく、習ったことを日常的に使用することが上達の鍵となる。教室外でも、学習した表現・会話の積極的な使用を心掛ける。
- ③クラスの雰囲気は、語学訓練の成否を左右する要因ともなり得るため、各自が雰囲気の向上に努める。
- ④既にある程度まで学習言語を習得しているボランティア候補者もクラスの一員として授業に参加し、さらなる語学力の向上に努める。

(3) 修了時に目指すレベル

活動で使用する言語と生活で使用する言語が異なる場合は生活で使用する言語のサバイバルレベルへの到達を、同一の場合はその言語のブラッシュアップをそれぞれ目指す。

2. 授業について

(1) 語学時間内訳

語学	時間
1. 語学（授業）	103
2. 語学（自習）	32
3. クラス編成テスト	2
4. 最終試験	2
合計	139

(2) 服装

語学授業を受けるときは、一般課業用服装（T.P.O を踏まえた服装）とする。

（※参照 訓練資料（生活関連実施要領；共同生活要領 「5. 服装について」）

(3) 授業の欠席

欠席する場合は、事前に所定の手続きを行う（スタッフルームにて、課業欠席届の提出。

スタッフルームに来られない場合は、内線電話で連絡し、届け出は後で記入。）

（※参照 訓練資料（生活関連実施要領；共同生活要領 「7. 課業欠席について」）

3. 語学クラスについて

ホームクラス編成

①各クラス6名程度を目途に、学習進捗に合わせたクラス編成を基本とする。

入所直後行なわれるクラス編成試験・インタビューにより、暫定クラスを決定する。

その後、数日間の調整期間をおき、最終的なホームクラスを決定する。

なお、この調整期間に自分の理解度や語学能力に疑問・不安を感じる場合は、先ず担当講師へ連絡。また、必要に応じてLTSへ相談する。ただし、担当講師の教授法に対する不満や、クラスメートとの相性等は考慮しない。

また、複数クラスが編成されず1言語1クラスのみで、且つ学習進度がクラス内で一致しない場合は、お互いに協力し合って学習を進める。

②各学習言語のクラス編成方法は次の通り。クラス分け表は4月12日（土）の朝6:30迄には2階語学関連ホワイトボードに掲示する。

8:45(1限目の語学授業開始)までに必ず各自で確認すること。

- ・ 英語：クラス編成テスト（EPテスト：English Placement Test）の結果を基に仮ホームクラスを編成。授業開始後、講師の判断等によりクラス調整する。
- ・ 西語、ネパール語、シンハラ語：
事前学習の確認テストを実施し、言語別に各講師から学習言語のオリエンテーションを行う。

4. 各種教材および教室備品について

(1) 教材

- ①授業で使用する基本的な教材は、訓練所と語学講師が準備する。
- ②授業でよく使用する教材や自己学習等で使用する副教材は、講師に相談のうえ各自で購入（訓練所にて書籍の出張販売あり。※参照 訓練資料（生活関連実施要領；訓練所施設内の利用について「(8)業者の出張販売等について」）。

ただし、訓練開始時は購入が間に合わないため、一部の市販教材などは貸与とする。貸与された教材は訓練修了前に返却するため、書き込みは禁止。JICA オリジナル教科書は返却の必要はない。貸与教材か否かは講師に確認。

- ③同じ学習言語であっても、全クラスが同じ教材を使用するとは限らない。担当講師が指導に合った教材を選出する。
- ④図書資料室にも語学教材、英語雑誌、その他語学学習関係書籍等がある。
- ⑤英語、西語、仏語については、職種別技術用語集が図書資料室に常備されており、閲覧可能（持ち出し不可）。また、以下のデジタル専門用語集も配置されており、各自でインストール可能（Windowsのみ対応）。
英語：「理数科教師」「コンピュータ技術」「スポーツ部門」
西語：「医療関係」「スポーツ部門」
仏語：「医療関係」

(2) 教室の利用

- ①教室は清潔に保つように心掛け、私物を放置しない。特にPC、金品などの貴重品は放置厳禁。個人で責任を持って管理する。
- ②教室内外の備品を移動、或いは使用する場合は、使用後必ず元の場所に戻す。
- ③掲示物は、ボードを利用する。止むを得ず壁に直接貼る場合は、塗装を痛めないように注意する。セロハンテープは使用禁止。
- ④教室を最後に出る人は窓の施錠を確認し消灯する。入口の扉は必ず開放する。
- ⑤視聴覚機器は必ず電源を切り、コンセントからプラグを抜く。
- ⑥網戸の開閉は禁止。
- ⑦早朝学習は午前5時30分から研修棟にて可能であるが、他のボランティア候補者の迷惑にならないように配慮する。
- ⑧教室は学習する場であることを十分に認識し、他者の学習を妨げるような行為は厳に慎む。語学自習や夕食後の自習時間であっても、他の教室にも聞こえるような音楽や談笑、また、楽器の演奏等は禁止とする。
- ⑨自分のクラス以外の教室への出入りは、盗難・紛失等の問題回避のため、必要がない限り入室を控える。
- ⑩英語・西語・仏語教室前のホワイトボードは、同一言語内で学習効果を高めることを目的に設置しているため、学習言語のみで利用する。

(3) 備品、消耗品

- ①授業中に講師が使用する消耗品（ボードマーカー等）は、講師が手配する。
- ②ホワイトボード・イレイサーは、汚れたら水洗い。教室内の美化に努める。
- ③教室内での喫茶は可能であるが、湯のみやお茶等は各クラスで購入する。
- ④建物全体の電気容量が限られており、現在設置されている視聴覚機器（テレビ、ビデオ、ラジカセ）やPC、プロジェクター以外の電気機器は教室では使用禁止とする。

(4) 教室内での PC 使用

- ①授業中は、語学講師の指示に従う。
- ②自分のPCを使用し音楽等をスピーカーで流すことは控える。
- ③教室内のLANターミナルは講師用に設置されているため、ボランティア候補者が使用する際は講師の了解を得る。また、無線LAN機器の新たな設置は禁止とする。加えて、既に設置されている機器・アンテナ等は絶対に触れない。

5. 自己学習について

(1) 語学自習時間

- ①語学の授業で学習したことの復習と定着の時間にあてる。
- ②楽器の練習や筋トレ、またスポーツやダンス等のレクリエーション活動等を行わない。語学の学習に専念する。
- ③語学授業時間に準ずるため、緊急時を除き、スタッフルームでの対応は行わない。

(2) 自己学習

言語を習得するためには、自己学習（復習）が重要である。クラス全体の進度に遅れないよう、自己学習に努める。夜の自主計画の時間帯（19:00～22:30）には語学の自己学習を最低2時間は行うようにする。

学習事項の習得に著しい遅れが生じ、訓練の修了が危ぶまれると語学講師及び訓練所スタッフが判断した場合、外出・週末外泊等について制限することもある。

6. 語学相談について

日々進んでいく語学学習の中で生まれる不安について相談する時間を設けている。

日時：水曜日 11：45～12：50（12：30 までに入室）

金曜日 11：45～12：50（12：30 までに入室）

※祝日、試験当日は除く

場所：よろず相談室

担当： 語学訓練スーパーバイザー(LTS)

【語学訓練スーパーバイザーより一言】

これから 36 日間にわたる派遣前訓練が始まります。

ここで学ぶことはそれぞれの任国で生活や活動を行っていくための大きな助けとなるはずですが、もちろん語学訓練もその一環としてあります。

皆さんの中には外国語学習が苦手という方もいるかもしれません。しかし、不安や萎縮は外国語習得の妨げになります。語学学習に関する疑問や問題があれば、臆することなく担当講師、語学スタッフに相談してください。我々はより良い学習環境を整えるために皆さんをサポートしていきます。

最後に一つ。語学訓練はそれ自体で完結しているわけではありません。赴任後の現地語学訓練とそれに続く活動のための第一歩と考えて臨んでください。

7. 語学関連行事について

語学関連行事一覧

日付	時間	行事	場所
4月11日(金)	10:50～11:40	入所時語学オリエンテーション	講堂
	13:00～14:50	クラス編成テスト	各指定場所
5月9日(金)	8:45～11:40	最終試験	各指定場所
講師申請日	語学授業時間	Half Day Trip	所外

Half Day Trip

講師の申請で実施

狙い

教室での学習内容を踏まえ、所外で生きた会話練習を行うことにより会話能力の向上を目指す。

実施内容・方法

午前3時間（8：45～11：40）、または午後2時間（13：00～14：50）の授業時間の範囲内で、駒ヶ根市または近郊での語学授業を実施。授業の進捗状況を担当講師が判断し計画する。

※ 講師が実施3日前までに申請する。

留意点

- ① クラスの進捗を鑑み、講師の判断、指導のもと実施される。
- ② 出発時および帰所時に JICA 事務室へ報告する。
《出発時：代表者が緊急連絡用の携帯電話番号をスタッフに伝達する。全員居室プレートを「Half Day Trip」の所に移動し、裏返す。》
《帰所時：戻った旨を JICA 事務室に報告する。》
《万が一、帰所時間に間に合わないような場合は代表者が訓練所へ連絡を入れる》
- ③ 交通費等の費用は全て個人負担とする。
- ④ グループから離脱するなど、勝手な行為及びボランティア候補者としての品位を損なうような行為をしない。私服も可とするが、節度ある服装を心がける。
- ⑤ 危険な行為は避け、交通事故等には充分注意し、健康保険証を携行する。
- ⑥ スポーツ・映画・温泉・干畳敷等、学習に不相当と思われる場所の訪問は不可。
- ⑦ 飲酒厳禁。

駒ヶ根訓練所学習言語一覧

目的：実践的コミュニケーションのための基礎的かつ機能的な知識、およびその運用力をつける。

言語	訓練中学習する言語について	現地語学訓練等について
English	EPテストによるクラス分け後、若干の調整期間を設ける。午前はクラスレベルに併せた授業を行う。午後はテクニカルクラス授業で技術表現・プレゼンテーションを習得する。	派遣国により異なる。 (現地語のみ・英語のみ・現地語+英語)
Spanish	入所時試験後仮クラス設定、若干の調整期間を設ける。中南米公用語のスペイン語を基礎から習得する。 中間試験後、テクニカルクラス（タジュール）を複数回実施する。	引き続き同言語を学習する。
Nepali	ネパール国標準語を、文字も含め基礎から習得する。	引き続き同言語を学習する。
Sinhalese	スリランカ国標準語を、文字も含め基礎から習得する。	引き続き同言語を学習する。

7

各言語 挨拶一覧

日本語	英語	スペイン語	フランス語	ロシア語	ベンガル語	ネパール語	シンハラ語	ウズベク語	キルギス語
<i>Japanese</i>	<i>English</i>	<i>Spanish</i>	<i>French</i>	<i>Russian</i>	<i>Bengali</i>	<i>Nepali</i>	<i>Sinhalese</i>	<i>Uzbek</i>	<i>Kyrgyz</i>
おはよう Ohayou	Good morning	Buenos días ブエノス デイアス	Bonjour ボンジュール	ド オーフ ラエ ウートラ	アッサラーム アライクム	ナマステ	スバ [°] ウデー [°] サナツ ウエーワー	アッサローム アライクム	クトマント [°] ウー タンゲン [°] グ [°] ス [°] メネン
こんにちは (気軽な挨拶) Konnichiwa	Good afternoon (Hello)	Buenas tardes (¡ Hola !) ブエナス タルデス (オラ)	Bonjour (Salut !) ボンジュール (サリュウ)	スト [°] ラースト ブ イチエ	(答える時) ワーアライクム アッサラーム		ア [°] ユー [°] ホ [°] ウワン	(答える時) ワーレイキム アッサローム	サラマツトウ ス [°] ブ [°] ブ [°] ー
こんばんは Konbanwa	Good evening	Buenas noches ブエナス ノーチェス	Bonsoir ボンソワール	ド [°] フ [°] リイ ヴ [°] エチエル			スバ [°] センテー [°] ワツ ウエーワー		クトマント [°] ウ ケチニー [°] ス [°] メネン
お元気ですか? (気軽な挨拶) Ogenkidesuka	How are you?	¿Cómo está? コモ イスタ	Comment allez-vous? (ça va ?) コマン タレヴ [°] ー (サウ [°] ア)	カク テ [°] イー [°] ラ?	アフ [°] ニ? ケモアチエン?	サンツアイ フヌフツア?	セハ [°] サニー [°] ハ [°] コホマダ [°] (コホマダ [°])	カンタ [°] イス	カンタ [°] イスイ [°] ス
元気です (あなたは?) Genkidesu	I'm fine thank you (and you?)	Muy bien gracias ムイ ビエン グ [°] ラシアス	Très bien, merci (et vous?) トレビ [°] アン [°] メルシー (エ ヴ [°] ー)	ハラシヨ	アミ [°] ハ [°] ロ [°] アチ (アフ [°] ニー)	サンチャイ ツウ (タハ [°] イン [°] ニー?)	ホンダイ	ヤクシ	ジ [°] ヤクシウ
～さん (男性) (女性・既婚) (女性・未婚) ～san	Mr. ～ Mrs. ～ Miss. ～	Señor ～ Señora ～ Señorita ～ セニョール ～ セニョーラ ～ セニョリータ ～	Monsieur ～ Madame ～ Mademoiselle ～ ムッシュー ～ マダム ～ マドモワゼル ～	ガ [°] スハ [°] テ [°] イン [°] ～ (男性) ガ [°] スハ [°] ジ [°] ア [°] ～ (女性)	～シャハブ [°] (男性のみ) ～アハ [°] (女性)	～ジ [°] (～さん)	～マハツティア [°] (男性) ～ノーナ [°] (女性)	ジ [°] ヤノフ [°] ～ (男性) ～ホ [°] ニム [°] (女性) ～ホ [°] (女性)	～ムルザ [°] (男性) ～アイム [°] (既婚女性) ～クウス [°] (未婚女性)
また会いましょう Mataaimashou	See you again	Hasta la vista アスタ ラ ヴ [°] イスタ	A bientôt アビ [°] アント	ハ [°] カー	アハ [°] ル [°] テ [°] カ ホバ [°]	フェリ ヘ [°] タオン	ハ [°] ツセ ハンブ [°] エム	キョーリン ギ [°] ユンチャ	クーリュシュ ク [°] チュ
おやすみなさい Oyasuminasai	Good night	Buenas noches ブエナス ノーチェス	Bonne nuit ボン [°] ニュイ	スハ [°] コイノイ ノーチイ	シュホ [°] ラツトリ	スハ [°] ラトウリ	スハ [°] ラートウリヤツ ウエーワー	ハイルリトウン	ジ [°] ヤクシウ ジ [°] ヤチウニー [°] ス
ありがとう Arigatou	Thank you	Gracias グ [°] ラシアス	Merci メルスイ	スハ [°] シーバ [°]	ドンノハ [°] ト [°]	ダ [°] ンニヤハ [°] ト [°]	イ [°] スツテウティ	ラフマツトウ	ウラフマトウ

平成26年度1次隊 語学講師一覽

Language	Name	RM	Ext No.
Spanish	Mr.	1	501
	Mr.	2	502
	Ms.*	3	503
	Mr.*	4	504
	Ms.	5	505
	Mr.*	6	506
	Mr.*	7	507
	Ms.*	8	508
	Ms.	9	509
	Mr.	10	510
	Ms.	32	532
	Mr.	33	533
English	Ms.	15	515
	Mr.	16	516
	Mr.	17	517
	Mr.	18	518
	Mr.*	19	519
	Ms.*	20	520
	Mr.*	21	521
	Ms.	23	523
	Ms.	24	524
	Mr.	25	525
	Mr.	26	526
French	Ms.	11	511
	Mr.	12	512
	Ms.*	13	513
	Mr.	14	514
	Mr.	28	528
	Ms.	29	529
	Ms.	30	530
	Mr.	31	531

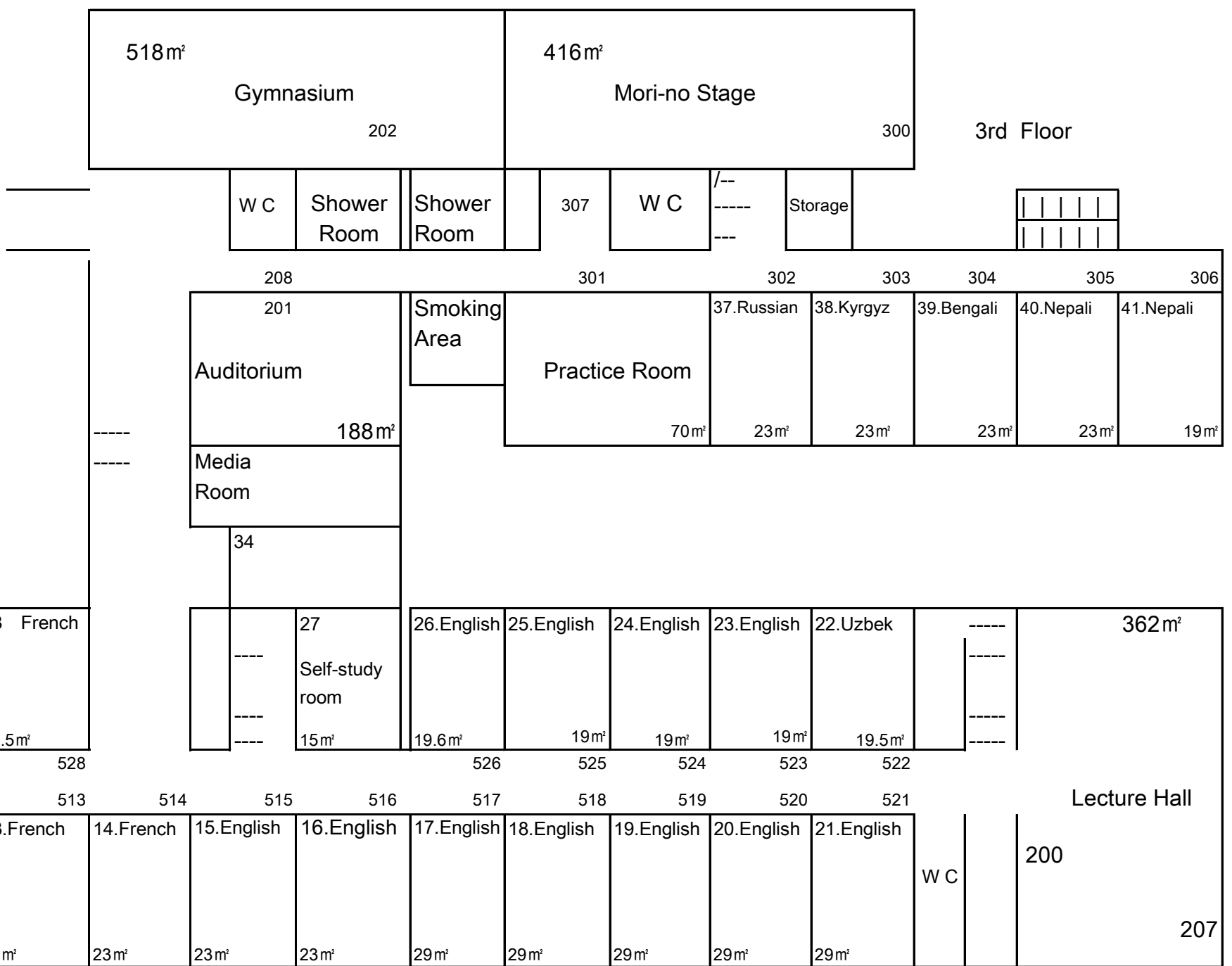
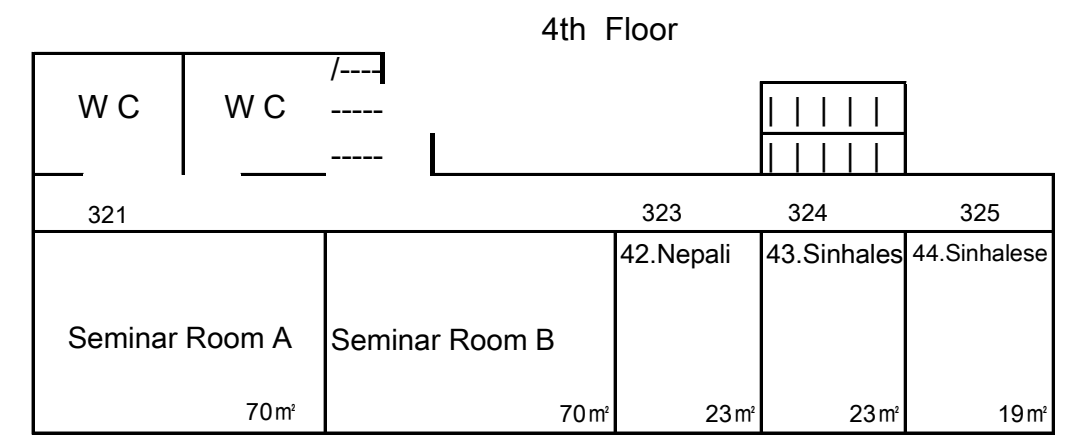
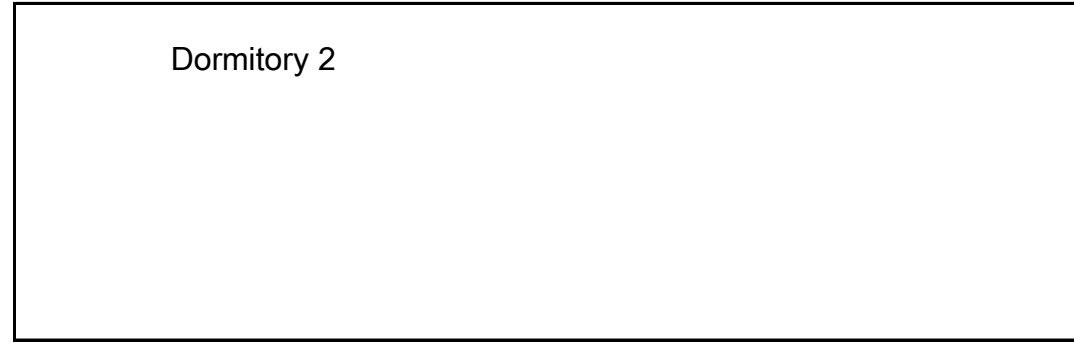
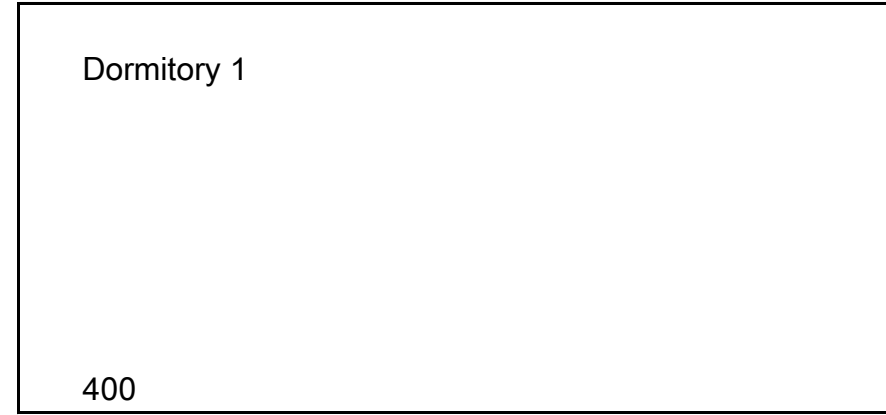
Asterisk (*) beside name indicates he/she is a JICA Directly Contracted Instructor.

Language	Name		RM	Ext No.
Russian	Ms.		37	302
Bengali	Mr.		39	304
Nepali	Ms.		40	305
	Mr.*		41	306
	Mr.		42	323
Shinhalese	Ms.		43	324
	Mr.*		44	325
Uzbek	Mr.		23	523
Kyrgyz	Ms.		38	303

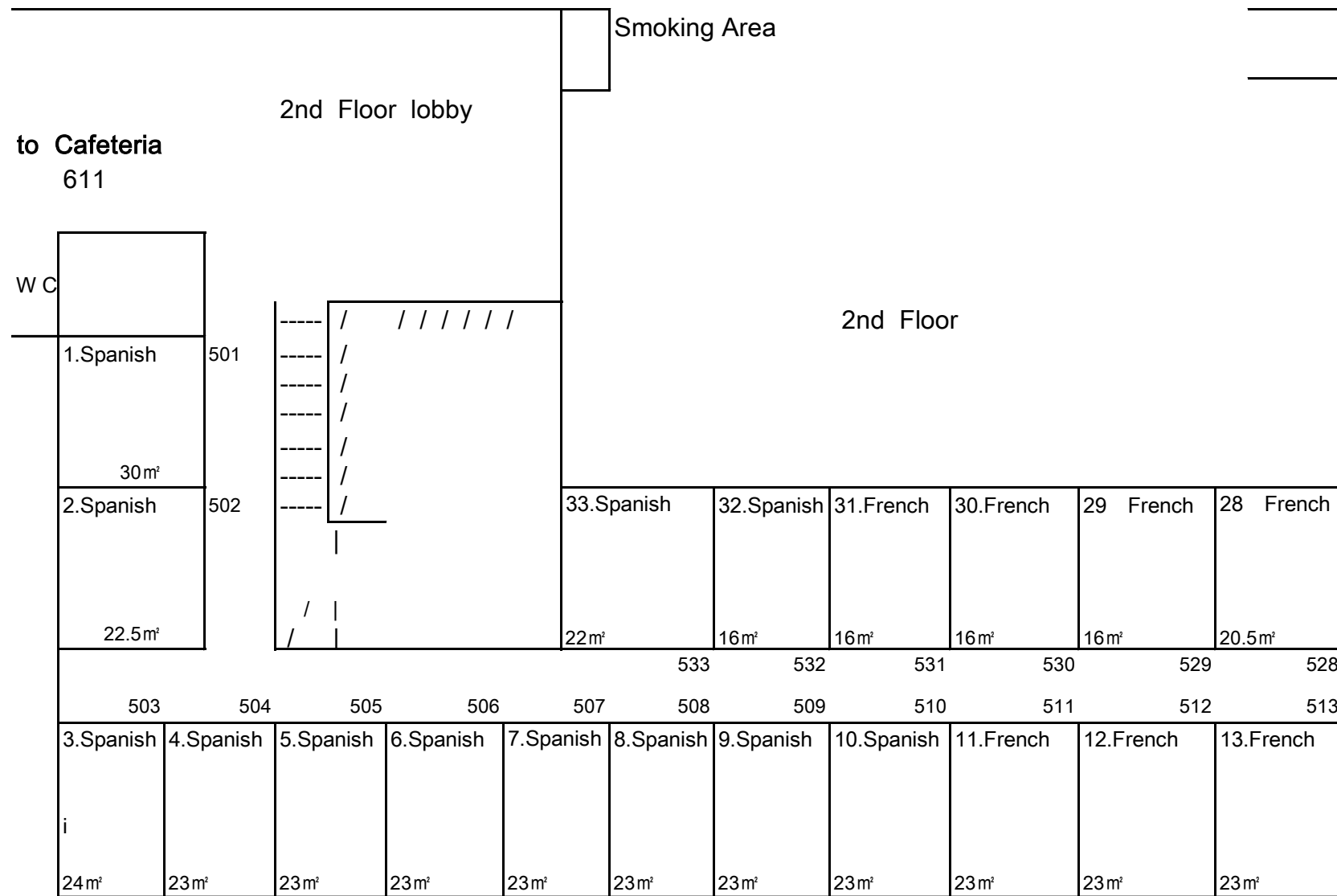
Asterisk (*) beside name indicates he/she is a JICA Directly Contracted Instructor.

Floor Information

1st Group FY2014



11



2F

語学能力自己評価表

レベル	聴く	話す	読む	書く	
上級	1	母語に近い能力がある。	母語に近い能力を持ち、教養のある話し方をすることができる。	母語に近い能力で読むことができる。	母語に近い幅広い知識を持ち、自然で正しい文章を書くことができる。
	2	大学の講義や広範囲な話題を十分に聴きとることができる。	日常の場面や専門分野についてほとんど困難なく、的確・具体的に話すことができる。	専門書・一般雑誌・新聞報道記事・社説などをほぼ正確に読むことができる。理解できる範囲は非常に広い。	文法は十分な知識があり、正しく使いこなせる。報告書を独力で書くことができる。
	3	複雑な内容をもつ討論や講義を除き、会議の進行や伝達事項を正確に聞き取ることができる。	専門分野や興味のあることは、自由に話すことができる。討論や説明も可能である。複雑なことや抽象的な表現はまだ使いこなせない。	自分の分野の専門書や興味のある分野は容易に理解できる。しかし、複雑な表現を理解するには辞書が必要である。	辞書や参考書を用いて専門分野や簡単な報告書を書くことができる。
中級	4	日常や職場での伝達の要旨はほぼ正確に理解できるが、複雑なことは繰り返して言ってもらう必要がある。	一般の事柄については、あまり困難なく話すことができるが、まだ正確さ・滑らかさ・使用語彙の適切さに欠ける。	自分の分野の専門書は多少問題はあるが、ほぼ理解できる。しかし、その他の分野では辞書を必要とする。	文法の知識は十分に持っているが、長い複雑な表現になると使いこなすことができない。
	5	普通の速さで話される日常の会話をほぼ理解できるが、しばしば繰り返して言ってもらったり、説明を求める必要がある。	日常の会話や活動分野については簡単な語句を使って話すことができるが、適切な語彙の使用や流暢さには欠ける。	活動分野の初歩的な文書やビジネス文書を辞書を使用し、時間をかければ理解することができる。	文法の基礎知識はある。文例や辞書などを使って報告書を書くことができるが、語句の使用が適切でないことがある。
	6	普通の速さについて行けなくなるが、日常会話や活動現場での会話は聴きとることができる。	限られた語彙や表現を使い会話はできるが、なめらかではない。	簡単な手紙文やEメールを読みとることができる。	文法の基礎力は弱く、語彙量は少ない。初歩的な文は書くことができる。
初級	7	日常会話の断片的な言葉や、活動現場での限られた指示、命令などの表現は聴きとることができる。	簡単な語句を使って必要最低限の要求を満たす会話をするすることができる。	写真や図が多く平易な単語・文で構成された掲示物・メモなどは読むことができる。	語彙量は乏しく、語順に間違いが多い。単純な文や単語だけのメモ類は書くことができる。
	8	簡単な単語や挨拶などの決まり文句がわかる。	日常の挨拶など、決まり文句は言えるが、ジェスチャーによる表現に頼る。	ごく限られた単語は読むことができる。	文法はほとんど判らない。限られた単語のみ書くことができる。

場面別事例表 (JICAボランティア)

自己診断ポイント 5.十分にできる 4.できる 3.できるが、状況によっては不安を感じることもある 2.少しはできる 1.できない

学習言語:

講師名:

派遣国:

氏名:

項目	目的	場面	必要な語学力	派遣前訓練期間			派遣国	現地語学
				入所時	中間試験後	修了試験後		
日常会話	現地の人々の心情を理解し、共に生活することができる。	ホームステイ先	自分のプロフィール(趣味、家族)や任国に来た目的を説明できる。					
		関係省庁	自分の専門(学歴・職歴)のことや配属先での活動内容、抱負を説明できる。					
		配属先	着任時に自分の活動やJICAボランティア事業の説明ができる。					
		電話	日常生活に必要な、基本的な電話の対応ができる。					
		買い物	生活必需品を市場や小売店で購入することができる。					
		食事	ファーストフード店、レストランで食事ができる。レストランでのマナーを知っている。					
		銀行	銀行口座開設、送金、小切手・外貨の換金をすることができる。					
		交通機関	交通標識の意味を理解し、バス、電車(地下鉄)、タクシーに乗って目的地に行くことができる。					
		病院	病院での受診(軽度な症状)するために必要な表現ができ、ひとりで受診することができる。					
		郵便局	手紙や小包の発送や受け取りをすることができる。					
		情報	テレビ、新聞、ラジオで一般情報や天気予報を理解できる。					
		交渉	住居契約を理解し、家賃の支払い方法、領収書の依頼、クレーム等をすることができる。					
		予約	ホテル、旅行代理店等で予約をすることができる。					
メディア	自分でインターネットのプロバイダー契約ができる。							
危機管理	緊急時に適切な行動ができる。	緊急時の備え	自分の住んでいる場所を説明できる。また、緊急時の連絡方法と連絡先を現地の人々に説明できる。					
		犯罪・交通事故	自分の身分を説明し、警察に通報、被害の状況を説明することができる。					
		暴動・政変・地震	近所の人から情報を得る。新聞やテレビ、ラジオで情報を入手し、状況を把握することができる。					
隊員活動	配属先の人々との人間関係を構築できる。	着任	自分が来た理由を説明し、2年間の抱負を述べられる。					
		業務開始	同僚、上司の名前を覚えて配属先の組織概要を理解することができる。					
		勤務	休暇、欠勤時の配属先に対する申請や連絡をすることができる。					
		会議	職場の会議に参加して自分の意見を言うことができる。					
	相手のニーズを的確に把握して活動することができる。配属先の人々を巻き込んで活動することができる。	活動計画	職場の関係者と自分の活動計画を立てることができる。					
		交渉	同僚や上司に自分の活動計画を説明し、活動が現実するよう交渉できる。					
		報告	自分の活動状況を口答や文書で配属先に報告することができる。					
		クレーム	問題が生じた特にクレームの方法を知っている。					
		書類・事務処理	自分の活動に必要な簡単な礼状、託状、事務連絡を作成できる。					
		専門知識	任国の言語で自分の専門分野のことを理解し、説明できる。					
文化交流	相手国と日本の歴史、文化の違いを理解して交流できる。	任国の文化	任国の歴史や文化を説明できる。					
		日本の文化	日本の生活習慣や伝統文化(茶道、華道、武道等)について説明したり、披露できる。					
		宗教	任国の宗教を理解し、日本の宗教について説明できる。					

Situational Language Skills: Self-Diagnosis Check List

Self-diagnosis items Criteria : 5. Excellent 4. Good 3. Fair 2. Poor 1. Very poor

				Pre-dispatch training			Upon arrival at host country	After In-country language training
				Upon entrance to KTC	Upon Mid-exam	Upon Final exam		
Target Language :		Instructor :		host country :		name :		
Item	Objective	Situation	Desired Proficiency Level					
Daily Conversation	Able to understand the feelings of local people and get along with them.	homestay	Can introduce yourself including topics on your family, hobbies, and explain motivation to join the JICA volunteer.					
		government office	Can explain your technical field duties including your educational and professional background and express your aspirations.					
		workplace	Can explain your field of activity and JICA volunteer.					
		telephone dialogue	Can hold basic telephone conversations necessary for daily life.					
		shopping	Can buy daily necessities at markets or stores.					
		restaurant	Can order food at restaurants and know restaurant etiquette and manners.					
		banking	Can open bank accounts, remit checks, convert foreign currencies.					
		transportation	Can understand traffic signs, ride the bus, train or taxi to get to destinations.					
		hospital	Can consult a doctor with appropriate expressions by yourself.					
		post office	Can buy stamps, send and receive letters and parcels.					
		announcement	Can understand announcements or general information and weather forecast on TV, radio, newspaper .					
		negotiation	Can understand residence contract, pay rent, ask for receipt, file complaints.					
		reservation	Can reserve a hotel room and ask at travel agency.					
media	Can sign up with a internet provider by yourself.							
Risk Management	Able to cope with emergent situations and natural disasters.	preparation for emergency	Can explain where you live and how to contact emergency address.					
		crime , traffic accident	Can explain your status, report to police and explain damages.					
		riot, coup detat, earthquake	Can obtain information from neighbors, newspaper,TV or radio and grasp the situation.					
Volunteer Activities	Able to establish relationship with fellow workers.	arrival at your post	Can explain why you are assigned here and speak of your aspiration.					
		starting at workplace	Can remember colleagues' names and understand the hierarchy of the organization.					
		at work	Can apply for time off and vacations.					
	Able to act according to the local people's needs and involve colleagues in your activities.	meeting	Can state your opinions in meetings.					
		plans of action	Can make project action plans with your colleagues.					
		negotiation	Can explain and negotiate your own action plans to peers and superiors and implement the plans.					
		report	Can report your activities orally and in writings at the workplace.					
		complaints	Can file a complaint when a problem arises.					
		clerical	Can write the thank you letter, letter of entrust, and letter of administrative information.					
expert	Can understand and explain your technical field duties in the target language.							
Cultural Exchange	Able to understand the differences between the two countries and exchange ideas.	culture of the host country	Can explain the host country history and culture.					
		Japanese culture	Can explain or perform aspect of Japanese culture. (tea ceremony, flower arrangement, martial arts, etc)					
		religions	Can understand the host countrys religions and explain those of Japan.					

訓練資料
講座関連実施要領
【第一部】

平成 26 年度第 1 次隊 駒ヶ根

青年海外協力隊訓練所

JICA KOMAGANE TRAINING CENTER

目 次

JICA ボランティアに求められる能力・適性	1
講座について・諸注意等	2～3
各種オリエンテーション一覧	4～5
講座一覧（コース別）	6～9
講座資料の見方	10
ストレスマネジメントに関するレポートについて	11
講座レポートについて	12～13
講座テストについて	14
WBT および JICA-Net による各インターネット事前学習容	15～19
各講座の目的・内容	20～51、55～73
自主講座について	52、74
「自主講座実施計画書」様式	53、75
「自主講座実施報告書」様式	54、76

JICA ボランティアに求められる能力・適性

項目	求められる対応能力・適性
1. 青年海外協力隊精神の理解および実践力	1-1 JICA ボランティアとしての使命感 1-2 国際協力およびボランティア事業の理解
2. ボランティア基礎力	2-1 主体性 2-2 協調性
3. ボランティア実務能力	3-1 発信力 3-2 マネージメント力
4. 異文化(他者)理解・適応力	4-1 異文化理解と適応 4-2 日本(人)理解
5. 危機管理能力	5-1 健康管理能力 5-2 安全管理能力

派遣前訓練における「講座」について

講座の分類

派遣前訓練の目的に即し、それぞれの講座は大きく 6 つのコースに分類されています。そのうち、この資料で扱うのは語学を除く次の 5 つです。

- 活動手法
- 健康管理・安全管理
- 社会的多様性理解・活用力
- 生活班活動
- 各種オリエンテーション

それぞれについての詳しい説明は、P.6～9 に「講座等一覧表（コース別）」として示されています。この一覧表は本資料の目次としても利用できます。

受講区分

講座はそれぞれの内容に応じて「必修講座」「指定者必修講座」「選択講座」等に分けられます。また、ボランティア活動において有益な情報を提供するセミナー、課外講座等も用意されています。履修要件の対象者区分は「JOCV」「SV」に分けられます。「JOCV」は青年海外協力隊候補者を、「SV」はシニア海外ボランティア候補者を指します。JICA ボランティア経験者については、一部の講座を選択可能とします（詳細はスタッフから連絡）。対象となる「経験者 1」「経験者 2」は下記のとおりです。

・経験者 1

19 年度 3 次隊以降の派遣期間 1 年以上のボランティア経験者

・経験者 2

19 年度 2 次隊までの派遣期間 1 年以上のボランティア経験者で、帰国から 5 年以内の者

公開講座

P.6～9 の「講座等一覧表」で「公開講座」の欄に●印が付いている講座は、一般市民も聴講する講座です。

各講座の目的・内容

各講座の達成目標や内容は、P.15～51、および P. 55～73 に記載していますので、確認してください。

テストとレポート

JICA ボランティアに必要とされる知識を確認するため、講座テスト（全員）を実施し、派遣前訓練レポート（JOCV のみ）を提出していただきます。詳しくは P.12～14 を参照して下さい。

自主講座

課業時間以外の時間帯に「自主講座」を開催することができます。自分の持つ知識や経験を他の候補者に伝えたり、ワークショップ等の企画運営方法を勉強したりするなど、実施者、参加者双方に有益な講座を企画してください。詳しくは P. 52 (P.74) を参照して下さい。

講座受講時の諸注意

- 【時間厳守】 講座開始 5 分前には着席し、講義を聴講できるよう準備してください。
- 【座席】 講堂での必修講座の場合、指示が無い限り座席表の通り着席してください。
- 【受講態度】 講座は真摯な態度で臨み、講師に失礼のない節度ある姿勢を心がけてください。講座に関係のない内職等は厳禁です。
- 【服装】 講師に対して失礼のないよう、T.P.O.をふまえた服装を遵守してください。
- 【飲食】 食べ物の持ち込みは禁止します。飲み物の持ち込みは、蓋付きで割れない容器（ペットボトルなど）を利用してください。
- 【パソコン】 講義中のパソコン使用は禁止します（タブレット型も含む）。
- 【携帯電話】 講座中は携帯電話の電源を OFF にしてください。
- 【撮影・録画】 講義中、デジタルカメラ・ビデオ等による静止画・動画撮影、および IC レコーダー等による録音は禁止します。
- 【その他】 質問をする際は、挙手して講師の指名を得てから起立してください。その後、派遣予定国、職種、氏名の順に名乗ってから質問してください。講座講師へのフィードバックのため、配布されたアンケート用紙は、講座終了後、必ず提出するよう願います。

各種オリエンテーション一覧表 ※指定がない限り、全員受講してください

実施日		実施時間・実施場所		オリエンテーション名		内容		担当	
4/10		入所時 日程表 参照	講堂	F-2-1	派遣前訓練に関する合意書説明	・派遣前訓練に関する合意書の説明・締結		調査役	
				F-2-2	生活オリエンテーション	・訓練所での生活における注意事項等(4/11も実施)		生活担当スタッフ	
				F-2-2	総括オリエンテーション	・公人としての心構え、訓練全体の構成、修了評価の説明		訓練総括	
4/11				A-2	語学オリエンテーション	・語学学習における心構え、語学講師紹介等 (JOCV候補者は中間時オリ、修了時オリ内でも実施)		語学担当スタッフ	
				C-3-1	診療室オリエンテーション	・訓練中の健康管理について ・診療室利用、外部医療機関受診、訓練所顧問医について ・予防接種の種類・方法・注意事項		診療室スタッフ	
				F-2-2	関連団体紹介	・駒ヶ根市の紹介 ・駒ヶ根青年会議所の紹介		駒ヶ根市役所 駒ヶ根青年会議所	
4/12				F-2-2	講座オリエンテーション	・各種講座の目的、内容説明		講座担当スタッフ	
4/16		15:10～ 16:00	講堂	F-3-5	ソーシャルメディアオリエンテーション/ 「コンプライアンス」と「ハラスメント防止」について	・コンプライアンス(法令等遵守)について ・ボランティアの倫理等ガイドラインについて ・ハラスメントについて ・ソーシャルメディアの私的利用に関するガイドライン ・広報媒体掲載、肖像権ガイドラインの説明及び過去の失敗事例の紹介 (TV会議システム利用) ※「JICAボランティアハンドブック」持参		青年海外協力隊事務局 計画課 職員	
		16:10～ 16:35	講堂	F-3-4	ボランティアポータルシステムオリエンテーション	・ボランティアポータルシステムについての説明 (TV会議システム利用) ※「JICAボランティアハンドブック」持参		青年海外協力隊事務局 計画課 職員	
		16:35～ 17:00	講堂	F-5-3	表敬訪問オリエンテーション	・訓練修了後に行う都道府県や市町村での表敬訪問の説明		国内協力員	
4/23	【JOCV】	14:10～ 15:00	講堂	B-3-1 B-4-1	コミュニケーション技法/ 調査手法オリエンテーション	・コミュニケーション技法の構成についての説明 ・調査手法の構成、およびフィールドワークの概要説明		訓練総括	
4/25		17:10～ 17:45	各指定場所 (掲示参照)	F-4-1	公用旅券オリエンテーション	・公用旅券用のサイン取り付け		各担当旅行会社	
4/30		15:10～ 16:00	講堂	F-3-1	派遣の仕組みと支援体制オリエンテーション	・派遣の流れ及び派遣中の支援体制等についての説明 ※「JICAボランティアハンドブック」持参		青年海外協力隊事務局 担当職員	
4/30	【SV】	15:10～ 16:00	講堂	F-3-2	処遇・制度オリエンテーション	・各種制度、派遣前～帰国時の手続き等について ※「JICAボランティアハンドブック」持参		調査役	
	【JOCV】	16:10～ 17:00							
	※全員	17:10～ 17:45	講堂	F-2-6	JOCA、育てる会オリエンテーション	・「(公社)青年海外協力協会」の活動内容、支援内容の紹介 ・「(社)協力隊を育てる会」の活動内容、支援内容の紹介		各担当職員	

実施日		実施時間・実施場所		リレーション名		内容		担当	
5/6	【JOCV】	15:10～ 16:00	講堂	E-3	野外訓練リレーション	・野外訓練実施に関する諸注意		生活担当スタッフ	
5/12	【SV】	15:10～ 16:00	小講堂	F-3-3	福利厚生・共済会 リレーション	・JICA ボランティア全員が加入する共済会等、福利厚生の概要(TV会議システム利用) ※「新総合ハンドブック」(共済会)持参		JICA 健康管理課職員	
		16:10～ 17:00		C-3-2	派遣前健康管理 リレーション	・JICA の健康管理支援体制について ・出発までの準備 ・任国での健康管理		診療室スタッフ	
	【JOCV】	15:10～ 16:00	講堂	F-2-4	中間時リレーション	・前半の振り返りと後半の取り組み姿勢について		語学訓練スーパーバイザー 訓練総括	
5/13	【SV】	13:00～ 13:50	小講堂	F-4-4	派遣に関する 合意書説明	・派遣に関する合意書の説明		調査役	
		14:00～ 14:50		F-4-2	赴任前リレーション	・JICA ボランティアの処遇および制度の概要 ・合意書の説明、公用旅券の管理 ・赴任経費の支給に係る連絡、諸手続きおよび留意事項			
5/20	【JOCV】	15:10～ 16:00	講堂	D-4-3	所外活動オ リレーション	・所外活動の構成、概要の説明、留意事項等 ・所外活動先の方々による心構えや内容説明		講座担当スタッフ	
6/3	【JOCV】	15:10～ 16:00	講堂	F-3-3	福利厚生・共済会 リレーション	・JICA ボランティア全員が加入する共済会等、福利厚生の概要(TV会議システム利用) ※「新総合ハンドブック」(共済会)持参		JICA 健康管理課職員	
6/11	【JOCV】	13:00～ 13:50	各指定場所 (掲示参照)	F-4-3	旅行会社オ リレーション	・公用旅券、航空券の配布 ・出国当日の日程、集合場所等の詳細 ・飛行機持ち込みの荷物や預け荷物について		各担当旅行会社	
6/13	【JOCV】	15:10～ 16:00	講堂	F-2-5	修了時 リ レーション	・訓練の総括および派遣に向けての心構えについて		語学訓練スーパーバイザー 生活担当スタッフ	
		16:10～ 17:00	森のステージ	F-5-1	特別行事オ リレーション	・皇太子御接見当日のリハーサル、注意事項等		訓練総括	
6/17	【JOCV】	8:45～ 9:35	講堂	F-4-4	派遣に関する 合意書説明	・派遣に関する合意書の説明		調査役	
		9:50～ 10:40		F-4-2	赴任前 リ レーション	・JICA ボランティアの処遇および制度の概要 ・合意書の説明、公用旅券の管理 ・赴任経費の支給に係る連絡、諸手続きおよび留意事項			
		10:50～ 11:40		C-3-2	派遣前健康管理 リレーション	・JICA の健康管理支援体制について ・出発までの準備 ・任国での健康管理		診療室スタッフ	

講座等一覧表(コース別)

A. 語学

コース	単元	授業・行事	実施日	公開講座	ページ
A ・ 語 学	A-1	自主計画時間を使った自習	語学関連実施要領 参照		
	A-2	語学リエゾン			
	A-3	語学授業			
	A-4	語学試験(クラス編成・中間・最終)			
	A-5	語学自習			
	A-6	語学交流会			

B. 活動手法

コース	単元	講座名	ねらい	実施日	公開講座	ページ	
B ・ 活 動 手 法	B-1	自主計画時間を使った課題発表の準備		-		-	
	B-2	目標管理	B-2-1	ホラティア活動の流れ 2年間の活動イメージを認識し、ホラティアに求められる能力・適性の自己評価が出来るようになる	4月14日		22
			B-2-2	目標管理概論 目標管理の考え方、目標設定と進捗管理、振り返りの実施方法、目標管理シートの意味を理解する	4月14日		23
			B-2-3	活動管理 活動を実施する際の計画策定、実施プロセスを理解し、活動実施における自分の強みと課題も把握する	4月14日		24
			B-2-4	振り返り・評価 訓練中に行ってきた目標管理について互いに発表し、他者評価を行うことで振り返りの場とする	6月14日		70
			B-2-5	個人面談 JOCV：目標管理面談により自分の強みや弱みを把握する SV：自身の派遣前訓練への取組状況を確認する	班担当より別途連絡		25
	B-3	コミュニケーション技法	B-3-1	コミュニケーション技法リエゾン 各種リエゾン一覧表参照(P.4~5)	-		-
			B-3-2	コミュニケーションの基礎 異文化における関係づくりのために、コミュニケーションに求められることを理解し、実践のコツをつかむ	4月23日		34
			B-3-3	ファシリテーションの基礎 多様な人が参加しやすい場づくりと、ファシリテーションの実践を通して、ポイントを理解する	4月28日		40
			B-3-4	プレゼンテーションの基礎 自分の知恵や経験、考えをまとめ、発表するためのプレゼンテーションの進め方を理解する			39
			B-3-5	課題発表・振り返り コミュニケーション技法を活用して課題発表を行い、生活班担当と一緒に振り返ることで学びを得る	5月26日		64
	B-4	調査手法	B-4-1	調査手法オリ 各種リエゾン一覧表参照(P.4~5)	-		-
			B-4-2	情報収集 情報を収集するときに重要なことを理解する	5月19日		58
			B-4-3	参加型調査手法 参加型計画の基礎を学び、任地での活動の一助とする			59
	B-5	適正技術	B-5-1	協力活動手法(WBT) ヒト、モノ、財が不足する開発途上国における、協力活動の基本姿勢や活動手法の考え方を学ぶ	-		15
			B-5-2	協力活動手法 任国における職種分野別の技術水準や適正技術について理解する	6月2日		66
			B-5-3	職種別活動セミナー 任国における職種分野別の技術水準や円滑な協力活動を行うための情報収集をする	5月10日		50

C. 健康管理・安全管理

コース	単元	講座名	ねらい	実施日	公開講座	ページ	
C・健康管理・安全管理	C-1	自主計画時間を使った体力増強活動		-	-	-	
	C-2	体力増強	C-2-1	体力テスト	入所時の体力を把握し、訓練期間中に維持・増強し、変化を確認することにより任国での体力維持・管理に役立てる	4月21日 6月10日	31
			C-2-2	体力維持講座	訓練期間及び任国における健康・体力の維持増進の重要性について実践を通して学ぶ	4月17日	26
			C-2-3	スポーツ大会	訓練候補者との交流を深めながら、体力向上の一助とする	4月19日	30
	C-3	健康管理	C-3-1	診療室リエンション	各種リエンション一覧表参照(P.4~5)	-	-
			C-3-2	派遣前健康管理リエンション		-	-
			C-3-3	救急法	突発的な事故・負傷に対する応急処置の方法を学び、事故防止思想と実践で役立つ技術を身につける	4月26日	38
			C-3-4	婦人科(対象者のみ)	女性が罹りやすい病気の基礎知識と自己管理のための知識を身につける	5月2日	43
			C-3-5	歯科衛生	任国における口腔管理の重要性と歯科疾患予防の知識を身につける	4月22日	33
			C-3-6	日本人の疾病動向と健康管理	生活習慣病の予防と対策を学ぶ	5月9日	48
			C-3-7	精神衛生	任国で心身ともに健康で過ごすことの重要性を理解し、任国でのストレス対処法を学ぶ	5月3日	44
			C-3-8	感染症	任国の感染症についての知識を深め、予防と罹患時の対処法を身につける	4月25日	36
			C-3-9	医療者特別講座(対象者のみ)	針刺し事故後のHIV感染予防対策と対処法を学ぶ	4月25日	37
			C-3-10	坐禅	自己を見つめ、安定した心持ち、精神修養を図る	6月9日	69
	C-4	安全管理	C-4-1	海外における安全対策	日本と派遣国の治安状況の違いを理解し、安全を確保するための基本的な心構えと具体的な方法を学ぶ	5月8日	47
			C-4-2	海外における交通安全対策	任国における交通事故防止に必要な安全意識の向上を図るとともに、日本での安全神話意識を払拭させる	4月24日	35
			C-4-3	海外における交通安全対策(バイク貸与予定者のみ)			
			C-4-4	自動二輪不整地走行練習(対象者のみ)	別途連絡		
			C-4-5	青遺海の会による講話	無事の帰国を願う留守家族の気持ちについて考え、命の尊さについて再確認する	-	73
			C-4-6	避難訓練	-	-	-
C-5	講座テスト	各種講座等を通じて学んだ国際協力、JICA事業、JICAボランティア事業、異文化理解、安全管理、保健衛生等、JICAボランティアとして活動するにあたり必要な知識の習得度を確認する		SV 5月12日 JOCV 6月7日		14	

D. 社会的多様性理解・活用力

コース	単元	講座名	ねらい	実施日	公開講座	ページ	
D・社会的多様性理解・活用力	D-1	自主計画時間を使った自主研修講座の準備・実施		-		-	
	D-2	JICA ボランティア 基礎講座	D-2-1	外務省講話	我が国のODAの現状を理解し、公人として派遣されるJICAボランティアの意識を高める	6月17日	72
			D-2-2	戦後日本の国際協力の歩み(WBT)	戦争で荒廃した日本が様々な国から支援を得ながら復興していく過程と、その後日本が被援助国から援助国の立場になっていく経緯と歴史を学ぶ	-	15
			D-2-3	国際関係と日本の国際協力	国際社会における援助の潮流と日本のODAの基本政策を理解する	5月14日	55
			D-2-4	JICA事業概要	我が国のODAの現状とJICA事業を理解し、ODAにおけるボランティア事業の位置付けを理解する	4月30日	41
			D-2-5	青年海外協力隊の歩みと理念(WBT)	青年海外協力隊がどのような過程を経て創設され今日に至っているのかを理解し、協力隊の特性を踏まえた意義と理念について考える	-	16
			D-2-6	JICAボランティア事業の理念と目標(局長講話)	JICAボランティア事業を理解し、ボランティアに必要な知識と心構えを養う	4月22日	32
			D-2-7	所長講話	訓練の心構えと、JICAボランティアの活動についての具体的なイメージを把握し、適切な心構えを培う	4月11日 SV 5月14日 JOCV 6月18日	20
			D-2-8	国別・地域別ボランティア派遣概要	任国におけるJICA事業の概要および協力プログラムについて理解する	5月7日	46
			D-2-9	ボランティアズ・リット意見交換会	JICAボランティアに参加した動機を再確認し、ボランティア精神とは何かを考える	5月5日	45
			D-2-10	エイズ基礎講座(JICA-Net)	HIV/AIDSに関する基礎知識と予防啓発活動を学ぶ	-	16
			D-2-11	ジェンダーと開発(JICA-Net)	ジェンダーに係る基礎知識を身につけ、ボランティア活動への活かし方を学ぶ	-	17
			D-2-12	環境と開発(JICA-Net)	環境や社会に配慮した開発のあり方について学ぶ	-	18
	D-3	社会的多様性理解	D-3-1	貿易ゲーム	世界経済の動きを疑似体験し、そこに存在する諸問題について考える	5月1日	42
			D-3-2	任国研究	任国ごとに赴任する国について調べ、まとめることにより、派遣される国についての理解を深める	4月18日	29
				日本(人)研究	日本や日本人の特徴について調べ、まとめることにより、自文化についての理解を深める	-	27 28
			D-3-3	世界の宗教事情(WBT)	派遣国の人々が信仰する宗教の基礎知識を身に付け、事例を通じて宗教に対する理解を深める	-	19
			D-3-4	世界の宗教理解	世界の宗教について理解を深め、日本人の宗教観を学ぶ	5月30日	65
			D-3-5	演習 Bafa-Bafa	異文化を疑似体験し、異文化理解を深める	5月23日	62
			D-3-6	異文化適応概論	異文化理解の意味と適応について学ぶ	5月24日	63
			D-3-7	異文化適応の事例研究	異文化適応に関する事例から、実際に任地で起こりうる問題や葛藤への対処方法を学ぶ	6月4日	67
			D-3-8	地球のステージ	紛争、災害、貧困の地の子供達に音楽と映像で近づき、国際協力とは何か、ボランティアとは何かについて迫る	5月14日	56
	D-3-9	内田クペリク検査	検査結果を通じ、自身の性格・行動特性を知り、異文化適応に役立てる	4月12日	21		
	D-4	社会的多様性活用力	D-4-1	任国事情	ボランティアの活動、現地の生活の様子等についてボランティア経験者から情報を得る	5月10日	49
			D-4-2	学校交流	地域の生徒との交流を通して、学校現場での国際理解教育に協力すると共に、自らも体験する	6月6日	68
			D-4-3	所外活動リレーション	各種リレーション一覧表参照(P.4~5)	-	-
			D-4-4	所外活動 ・振り返り	普段と違う環境でどのように人々と関わり合い、相手の役に立てるかについて実践を通じて考える	5月22日 5月28日 5月29日	60 61
					ボランティア活動の実際(SVのみ)	経験者から困難なことへの対処、心構え、ツなど実際の様子を聞き、活動に対する意識を高める	5月10日
	D-5	帰国後の社会還元	D-5-1	ボランティア体験と社会還元(WBT)	帰国後の隊員たちは、それぞれの協力隊体験をどのように日本社会に活かすことができるのか実践例を通して考える	-	19
			D-5-2	帰国後の進路と社会還元	JICAボランティアに期待する帰国後の「社会還元」について学ぶ	6月17日	71

E. 生活班活動

コース	単元	講座名	ねらい	実施日	公開講座	ページ
E・生活班活動	E-1	自主計画時間を使った生活班ミーティング		-		-
	E-2	野外訓練準備		5月15日		-
	E-3	野外訓練オリエンテーション		各種オリエンテーション一覧表参照 (P.4~5)		
	E-4	野外訓練	普段とは異なる生活環境下においても柔軟に適應する力と、共同作業を行う力を養う	5月16日 5月17日		57

F. 各種オリエンテーション

コース	単元	講座名	ねらい	実施日	公開講座	ページ		
F・各種オリエンテーション	F-1	式典	F-1-1	受付・入所式	4月10日		-	
			F-1-2	修了式・壮行会	SV 5月14日 JOCV 6月18日		-	
	F-2	派遣前訓練	F-2-1	訓練合意書に関する合意書の説明	-		-	
				派遣前訓練オリエンテーション	-		-	
				生活	各種オリエンテーション一覧表参照 (P.4~5)	-		-
			F-2-2	総括	-		-	
				講座	-		-	
				関係先紹介	-		-	
			F-2-3	自己紹介	赴任後の自分に待ち受ける多くの出会いを想定して、自分自身を表現する	4月12日		-
	F-2-4	中間時オリエンテーション	-		-			
	F-2-5	修了時オリエンテーション	-		-			
	F-2-6	JOCA・育てる会オリエンテーション	-		-			
	F-3	制度・ガイドライン	F-3-1	派遣の仕組みと支援体制オリエンテーション	-		-	
			F-3-2	処遇・制度オリエンテーション	-		-	
			F-3-3	福利厚生・共済会オリエンテーション	-		-	
			F-3-4	ボランティアポータルシステムオリエンテーション	各種オリエンテーション一覧表参照 (P.4~5)	-		-
			F-3-5	ソーシャルメディア/「コンプライアンス」と「ハラスメント防止」について	-		-	
	F-4	派遣関連	F-4-1	公用旅券オリエンテーション	-		-	
			F-4-2	赴任前オリエンテーション	-		-	
			F-4-3	旅行会社オリエンテーション	-		-	
			F-4-4	派遣に関する合意書の説明	-		-	
	F-5	特別行事・表敬訪問	F-5-1	特別行事オリエンテーション	-		-	
			F-5-2	特別行事	6月16日		-	
F-5-3			表敬訪問オリエンテーション	各種オリエンテーション一覧表参照 (P.4~5)	-		-	

講座資料の見方

達成目標…この講座で達成ポイントを簡潔にまとめたもの。

コース-単元-講座名称

日時、実施場所など

C-2-2 健康管理・安全管理-体力増強-体力維持講座 4月17日(木)
15:10~17:00
玄関前駐車場

達成目標 訓練期間及び任国における健康・体力の維持増進の重要性について実践を通して学ぶ

講座の内容

ウォーミングアップ…柔軟性を高め、怪我を予防する。

1. 柔軟性と敏捷性を高める運動

(1)脚、腰を伸ばす運動
(2)バランスよく脚を伸ばす運動
(3)肩、胸部を伸ばす運動
(4)肩、脚の柔軟性を保つ運動

2. 仲間と楽しく動く運動

(1)肩、腕の動きをなめらかにする運動
(2)脚、腰、背を伸ばす運動

3. ラジオ体操

ラジオ体操は13の運動で構成されている。日常生活や仕事ではあまり使われていない筋肉や関節をバランスよく動かして、柔軟性や筋力、調整力（バランス感覚やリズムミカルに身体を操作する機能、いざという時に素早く身体を反応させ、安全性を高める機能）、全身の血液循環を良くする等、頭から足先まで運動刺激を与え、全ての機能を活性化させることができる。運動一つ一つの意味、そして動作のポイント等について学ぶ。

運動のできる服装で参加すること
雨天時は「森のステージ」で実施

履修要件

対象者	要件
JOCV	○必修
SV	○必修

対応能力・適性

危機管理能力

講師

氏

留意点等…講座ごとに個別の注意事項がある場合があるので、必ず確認すること。

履修要件…各対象者の○必修／△選択可／☆指定者必修／×対象外を示している。

対応能力・適性…該当講座を履修することにより、伸ばすことができる対応能力・適性を示している。

担当スタッフ…該当講座の責任者。不明点などはこちらまで知らせること。

【担当スタッフ： 】

—240—

ストレスマネージメント に関するレポート（候補者全員対象）

提出期限
4月29日（火）
17:00 まで

●テーマ

日本とは生活環境が異なる任国で活動する上で、多くのボランティアがストレスを感じ、なかには、心身の不調をきたすボランティアもいます。

ストレスに対する受け止め方には個人差がありますが、これからの任国での生活や活動に向けて、自分自身と向き合い、自分なりのストレス対策を実践することが重要となります。

これまでの生活や自分をとりまく人間関係において、自分がどのような時にストレスを感じやすいか、どのように乗り越えてきたかを振り返り、自分自身のストレス対処法などをレポートしてください。

●書式

- ・ 所定用紙（手書き）を使用する。
- ・ 記入は必ず黒インク・ボールペンを使用する（鉛筆は不可）。
- ・ 修正液、修正テープの使用は可。

●用紙

- ・ 用紙は4月22日（火）の班会議で配布する。

●提出方法

- ・ 4月29日（火）予防接種時間、講堂内に回収箱を設置するので提出してください。

●レポートの取り扱いについて

- ・ 既往歴があっても申告せず、現地で想像以上にストレスがかかり病気が再発し、帰国するケースも多いことから、正直に記載願います。
- ・ ストレスマネージメントレポートで過去の既往歴について記載があった場合、JICAが派遣の可否について再検討する場合があります。

[担当スタッフ:診療室スタッフ]

派遣前訓練レポート【JOCV 候補者】

提出期限
6月9日(月)
8:45まで

●テーマ

テーマ	参考講座等
<p>以下の内容を、所定の字数にまとめ、提出。</p> <p>(1) 異文化理解・適応【400～800字】 異文化適応各種講座を踏まえ、任国で迎えるであろう異文化 適応の経路、プロセスを記述。</p> <p>(2) 安全管理【①②合わせて400～800字】 以下の項目について記し、自分がどんな安全管理を心がけるか記述。 ① 任国の治安状況 ②任国の交通状況</p> <p>(3) 健康管理【①②合わせて400～800字】 以下の項目について記述。 ① 任国でかかる可能性のある病気、その予防策と対策法 ② 生活環境や活動内容から想定されるストレスについての自己対策</p> <p>(4) 国際協力／ボランティア事業【800～1200字】 国際協力やボランティア事業の理念等の講座を踏まえ、自分が目指すJICA ボランティア像を記述。</p>	<p>任国事情 異文化適応概論 所外活動 他</p> <p>海外における交通安全対策 海外における安全対策</p> <p>各種健康管理関連講座</p> <p>JICA ボランティア事業の理念と目標 国際関係と日本の国際協力 ボランティアスピリット 意見交換会 他訓練全般</p>

●書式

- ・用紙サイズ：A4 サイズ
- ・余白左側は綴じ代として2cm とる。

手書きの場合

- ・記入は必ず黒インク・ボールペンを使用（鉛筆は不可）。
- ・修正液、修正テープの使用は可。

ワープロソフト使用の場合

- ・本文フォント12 以下、行数30/頁以上。
- ・宿泊棟共有フォルダにフォームあり。

●提出方法および留意点

- ・講座「異文化適応の事例研究」(6/4(水))実施後から提出のこと。
- ・記述内容・量が不十分な場合は、スタッフより再提出を求める場合がある。

電子メールで提出の場合

- ・データ形式：Microsoft Office Word 形式
- ・データ名：【派遣予定国・氏名】
- ・メール件名：【派遣前訓練レポート 生活班・派遣予定国・氏名】
- ・アドレス：jicakjv-kouza-v@jica.go.jp に添付して送信

用紙で提出の場合

- ・スタッフルーム前、班別BOXへ提出。
- ・クリップを使用すること(ホッチキスは使用しない)。
- ・提出後、返却はしないので、各自必要に応じてコピーをとること。

クリップ位置(用紙で提出の場合)

年 月 日提出
平成 26 年度 1 次隊 派遣前訓練レポート
派遣予定国 及び 職種/指導科目 氏名
(1) 異文化理解・適応【●●字】 ：
(2) 安全管理【●●字】 ①任国の治安状況 ②任国の交通状況 ：
(3) 健康管理【●●字】 ①任国でかかる可能性のある病気、その予防策と対策法 ②生活環境や活動内容から想定されるストレスについての自己対策 ：
(4) 国際協力/ボランティア事業【●●字】 ：

左側は綴じ代にスペースをとる(2cm)

[担当スタッフ：]

講座テスト（全員対象）

下記参照

● 目的

各種講座等を通じて学んだ国際協力、JICA 事業、JICA ボランティア事業、異文化理解、安全管理、保健衛生等、JICA ボランティアとして活動するにあたり必要な知識の習得度を確認する。

- 実施日時・会場 【S V 候補者】 5/12（月） 14:10～15:00@A 会議室
【JOCV 候補者】 6/7（土） 15:10～17:00@講堂

- 出題範囲 JOCV 候補者:テーマ 1～4、SV 候補者:テーマ 3～4

テーマ	参考講座等
1. 国際協力、JICA 事業、JICA ボランティア事業（100 点） <ul style="list-style-type: none">・ ボランティア事業の概要、事業理念、目標などについて・ ODA の形態、分類、構造、JICA 事業について・ JICA の人間の安全保障（概念、視点など）について・ 環境、ジェンダー、HIV/エイズ	「JICA ボランティア事業の理念と目標」「国際関係と日本の国際協力」「JICA 事業概要」など
2. 社会的多様性理解（100 点） <ul style="list-style-type: none">・ 講座「異文化適応概論」「世界の宗教理解」他応用問題	「異文化適応概論」「世界の宗教理解」など
3. 安全管理（50 点） <ul style="list-style-type: none">・ 安全管理（交通安全に対する意識、安全対策など）について	「海外における交通安全対策」「海外における安全対策」など
4. 保健衛生（50 点） 狂犬病、経口感染症、マラリア、 デング熱、破傷風 予防接種、日本人の疾病動向、生活 習慣病、歯科衛生 精神衛生	「感染症」「日本人の疾病動向と健康管理」（講座）、「感染症」（資料）など

※JICA ホームページ、事前学習指示内容等も参考に、講座テストに備えること。

● その他

- ▶ 鉛筆、消しゴムを持参（マークシートを使用）。
- ▶ 各分野の点数が 60%未満の場合、分野ごとに再テストを実施する。

[担当スタッフ：]

B-5-1 活動手法-適正技術- 協力活動手法

WBTによるイ
ンターネット事
前学習

達成目標

ヒト、モノ、カネが不足する開発途上国における、協力活動の基本姿勢や活動手法の考え方を学ぶ

講座の内容

2部構成。音声と映像を視聴し学習する。

第1部

隊員の活動現場に即した活動とは何か、どのような協力手法が求められるのか、西アフリカで活動した栄養士隊員の事例を基に考える。

第2部

国際協力の現場において、現地の社会環境をよく見極めることの必要性、重要性について南部アフリカの複数の国々で実施された簡易コン口の普及活動の事例を比較しながら考える。

D-2-2 社会的多様性理解・活用力-JICA ボランティア基礎講座- 戦後日本の国際協力の歩み

WBTによるイ
ンターネット事
前学習

達成目標

戦争で荒廃した日本が様々な国から支援を得ながら復興していく過程と、その後日本が被援助国から援助国の立場になっていく経緯と歴史を学ぶ

講座の内容

3部構成。それぞれの音声と画像を学習した後、各々の主要な事項を記した年表データで詳細を学習する。また、重要な事項についての参考文献やインターネットのリンクを活用し個別に理解を深める。

第1章 戦後焦土からの「再出発期の歴史について

第2章 援助国への転換「成長期」の歴史について

第3章 援助大国への「飛躍期」～量から質世界一への「模索時期」について

達成目標

青年海外協力隊がどのような過程を経て創設され今日に至っているのかを理解し、協力隊の特性を踏まえた意義と理念について考える

📖 講座の内容

本編 4 章と別章の 5 部構成。音声と画像と動画を視聴して学習する。

- 第 1 章 協力隊が創設されるまでについて
- 第 2 章 草創期の協力隊について
- 第 3 章 拡大期の協力隊について
- 第 4 章 変革期の協力隊について
- 別章 帰国隊員の活動について

達成目標

HIV/AIDS に関する基礎知識と予防啓発活動を学ぶ

📖 講座の内容

1. どうなる、どうする、身近なエイズ

～あなたの赴任国と HIV/AIDS～

「HIV/エイズ」は、性という全ての人に関わる行動に深く関与しており、また、差別・偏見の問題があるため、感染症対策としてだけではなく、セクターを越えた包括的な取り組み強化と全ての人々に正しい理解が求められている。本教材では、HIV/エイズについて正しく理解し、今後の活動に役立てることが目的。理解度テストあり。

2. アーティストになったエイズウィルス感染者

ニカラグアに青少年活動の職種で派遣された協力隊員が、エイズの予防啓発活動と HIV 感染者への精神的支援のために、エイズをテーマにした演劇活動をしている映像を収録。HIV/エイズ対策活動紹介、教育のための啓発演劇、青年海外協力隊の青少年活動体験談、演劇という手法を通して、市民や社会的弱者への精神的な自己の力を引き出すサポートを行う際等に活用することが目的。

達成目標

ジェンダーに係る基礎知識を身につけ、ボランティア活動への活かし方を学ぶ

 講座の内容

1. 30分でわかる！開発に役立つジェンダー入門

ジェンダーの基本的な考え方や JICA の方針、事例までの内容をクイズやアニメーションを交えて分かりやすくまとめてある。インターネット環境でなくとも学習の可能な CD-ROM 教材。

2. ジェンダー主流化への取り組みの好例

～イエメン女子教育～

初等教育就学率のジェンダー格差が特に大きい場合、女子教育を推進するためにはどのようなアプローチが可能で、どのような配慮が必要かを、本教材は中東のイエメンで実施された「タイズ州地域女子教育向上計画」を事例として、教育分野におけるジェンダー主流化の取り組みを紹介。

3. ジェンダー主流化への取り組みの好例

～タンザニア KATC2～

「タンザニアキリマンジャロ農業技術者訓練センター計画フェーズ2」におけるジェンダー主流化のための取り組みを紹介。具体例として、女性の参加を促すために研修参加者の男女比を半々に固定し、積極的な女性の参加を求めたこと、改良かまどや家計管理など、女性が関心を持ちやすい研修コースを設けたことなどのポイントがわかりやすく解説されており、他のプロジェクトにおいてジェンダー配慮の視点を取り入れる際の参考として活用することが可能。

達成目標

環境や社会に配慮した開発のあり方について学ぶ

 講座の内容

1. やってみよう！環境教育－自然との調和を目指して 環境教育を実践する上での重要なポイントをわかりやすくまとめている。“プログラムの基本”では、すべての活動の基本となる Plan-do-check-act サイクルをアニメで学び、ビジターセンター、指導者養成研修の事例を映像で学ぶことができる。
2. 日本の 3R 推進の経験～試行錯誤して見えてきた循環型社会～
この教材の目的は、JICA による技術協力事業の一環として、開発途上国における廃棄物の 3R(Reduce(排出抑制)、Reuse(再利用)、Recycle(再生利用))に関する人材育成に活用することが目的。日本の取り組みと開発途上国のケーススタディを紹介し、3R の共通理解、啓発普及用の映像型教材。

達成目標

派遣国の人々が信仰する宗教の基礎知識を身に付け、事例を通じて宗教に対する理解を深める

📖 講座の内容

海外で活動する上で、その他の宗教を理解することは極めて重要である。本講座では、派遣国の人々が信仰する主だった宗教について基本的な知識を身に付けるとともに、実際にボランティアが体験した事例を通して対する理解を深める。

第1部

ユダヤ教、キリスト教、イスラム教等の一神教、ヒンドゥー教、仏教、シーク教のインド起源の宗教、儒教、道教、一部の仏教等中国起源の宗教、神道、日本で根付いた仏教等の日本の宗教、その他の宗教に分け、それぞれの宗教の概要を学習する。

第2部

世界の宗教分布図から各宗教の基本情報を閲覧し、学習する。

第3部

協力隊員の派遣国地図からそれぞれの宗教事情を閲覧し、国別の宗教事情に対する理解を深める。

達成目標

帰国後の隊員たちは、それぞれの協力隊体験をどのように日本社会に活かすことができるのか実践例を通して考える

📖 交流の内容

2部構成。音声、画像、動画で学習する。

第1章 身近なボランティア経験の活かし方について

第2章 実践例の紹介を通じた具体的な社会貢献活動について

達成目標

①訓練の心構え ②任国での活動のイメージ作りと
赴任にあたっての心構え

📖 講座の内容

入所時には「70 日間（SV35 日間）の訓練を JICA ボランティア候補者としてどのような心構えで過ごすべきか」を、修了時には、JICA ボランティアとして任地での具体的な活動がイメージできるような内容となっている。

1. 所長講話①（入所時 4/11 8:45～9:15）

「訓練の心構え」

- (1)訓練の目的や訓練所の機能を理解
- (2)訓練の心構え

2. 所長講話②（修了時 SV 候補者:5/14、JOCV 候補者:6/18）

※実施時間・場所は別途修了時日程表で確認のこと

「JICA ボランティア活動の実践」

- (1)途上国の特徴を理解
- (2)課題対応の実践をイメージ
- (3)赴任にあたっての心構え

👤 履修要件

対象者	要件
JOCV	○必修
SV	

☑ 対応能力・適性

- 青年海外協力隊精神の理解および実践力
- ボランティア基礎力
- ボランティア実務能力
- 異文化（他者）理解・適応力

👤 講師

所長
駒ヶ根青年海外協力隊訓練所

[担当スタッフ:]

達成目標

検査結果を通じ、自身の性格・行動特性を知り、異文化適応に役立てる

📖 検査の内容

ボランティア自身の性格・行動特性を知ることができるので、派遣期間において異文化の中で困難に直面した場合、その解決の一助となる。

本検査の所要時間は、60分程度。成人を対象とした本検査は公的機関でも多く採用されており、信頼性が高い。

👤 履修要件

対象者	要件
JOCV	○必修
SV	×

対応能力・適性

- 異文化(他者)理解・適応力

[担当スタッフ:]

達成目標

2年間の活動イメージを認識し、ボランティアに求められる能力・適性の自己評価ができるようになる

 講座の内容


派遣開始から派遣終了まで、2年間の活動が一般的にどのような流れとなっているのか、時系列でイメージする。その上で、現地で高いパフォーマンスをあげるために必要なボランティアの能力について学び、自分の強み・弱みを把握する。

1. 派遣期間中の流れ

- ・ 赴任直後から活動終了時までの流れ、活動イメージを時系列に沿って紹介

2. ボランティアに求められる対応能力・適性

- ・ 活動を円滑に進めるために必要なボランティアの対応能力・適性について

 履修要件

対象者	要件
JOCV	○必修
SV	△選択可

 対応能力・適性

- 青年海外協力隊精神の理解および実践力
- ボランティア基礎力
- ボランティア実務能力
- 異文化(他者)理解・適応力

 講師

訓練総括

[担当スタッフ:]

達成目標

目標管理の考え方、目標設定と進捗管理、振り返りの実施方法、目標管理シートの意味を理解する

📖 講座の内容

任地で効果的なボランティア活動を行うには、目標を設定し、その目標を達成するように活動する必要がある。目標設定と進捗管理、ふりかえりを派遣前訓練での実践を通して身につけるために必要な知識と手法を学ぶ。それを踏まえ、派遣前訓練用の目標管理シートを作成する。

1. 目標の設定方法 (1)目標設定が必要な理由
(2)組織・チームの目標と個人目標の連動
(3)目標の設定方法
2. 演習「任地で達成したい目標と自分のやるべきことを整理する」

ワークシート「マイビジョンシート」をつかって、実際に自分のビジョンを描いてみる。ビジョンを描き、それを実現するためにどんな行動を起こさなくてはいけないか、自分が何をしなくてはいけないか、を具体的に考えてみる。シート記入後に、隣の人と共有する。

3. 目標達成のための管理手法 (1)目標と現状の違いから課題抽出する (2)課題解決への取り組み方
(3)PDCAサイクルの必要性
(4)効果的なふりかえりの方法
4. 派遣前訓練の目標管理シート作成
自分なりに気づいたこと、わからないことを途中で共有する時間を設ける。

目標管理シートが時間内に完成しない場合は、自主計画時間を使って完成させ、個人面談当日に持参、班担当に提出すること。目標管理シートを基に個人面談が行われる。

👤 履修要件

対象者	要件
JOCV	○必修
SV	△選択可

☑ 対応能力・適性

- 青年海外協力隊精神の理解および実践力
- ボランティア基礎力
- ボランティア実務能力

👤 講師

氏

[担当スタッフ:]

達成目標

活動を実施する際の計画策定、実施プロセスを理解し、活動実施における自分の強みと課題も把握する

📖 講座の内容

ボランティア活動は計画に基づいて、カウンターパートや関係者と一緒に活動をする。効果的な活動を行うために必要な計画策定・チーム運営・実施管理について学ぶ。また、任地で効果的な活動を行うために、派遣前訓練期間に学ぶべきこと、そのために取り組むべきことを考え、活動計画を立案する。

1. 目標を実現する活動のポイント
計画に基づき、チームとして活動する
2. 効果的な活動の進め方
 - (1)目標達成につながる活動計画の作成方法
 - (2)活動内容の洗い出しと体系化
 - (3)スケジュール作成と進捗管理
 - (4)チーム運営とリーダーシップ
 - (5)情報共有の大切さと行い方
3. 派遣前訓練における活動計画の作成 任地での活動に向けて、自分の課題を乗り越えるための活動計画を作成する
4. 派遣前訓練における活動管理の実践

👤 履修要件

対象者	要件
JOCV	○必修
SV	△選択可

☑ 対応能力・適性

- 青年海外協力隊精神の理解および実践力
- ボランティア基礎力
- ボランティア実務能力

👤 講師

氏

[担当スタッフ:]

達成目標

JOCV：目標管理面談により自分の強みや弱みを把握する
SV：自身の派遣前訓練への取組状況を確認する

 面談の内容


【JOCV】目標管理面談

目標管理シートを使った班担当スタッフとの面談を通じ、主観的な自己分析と客観的な自己分析でどのような違いがあるのかを把握する。また、訓練が終わった後にいかなる能力、資質をどんな研鑽を続け、伸ばしていくかについても話し合う。面談は入所時、中間時、修了時の計3回実施する。

中間時と修了時の面談では、達成した成果の根拠を留意すること。

【SV】個人面談

ボランティア事業への参加の動機、派遣前訓練への取り組み状況、合同合宿制訓練の感想、睡眠時間等について報告する。入所時、修了時の計2回実施する。

 履修要件

対象者	要件
JOCV	○必修
SV	

 対応能力・適性

- 青年海外協力隊精神の理解および実践力
- ボランティア基礎力
- ボランティア実務能力
- 異文化（他者）理解・適応力
- 危機管理能力

[担当：各班担当スタッフ]

達成目標

訓練期間及び任国における健康・体力の維持
増進の重要性について実践を通して学ぶ

📖 講座の内容

ウォーミングアップをして体を温め、筋肉や関節の柔軟性を高め、怪我や傷害を防ぎ、スポーツや運動を楽しむ。

1. 柔軟性と敏捷性を高める運動

(1)脚、腰を伸ばす運動 (2)バランスよく脚を伸ばす運動 (3)肩、胸部を伸ばす運動 (4)肩、脚の柔軟性を保つ運動等

2. 仲間と楽しく動く運動

(1)肩、腕の動きをなめらかにする運動
(2)脚、腰、背を伸ばす運動

3. ラジオ体操

ラジオ体操は 13 の運動で構成されている。日常生活や仕事ではあまり使われていない筋肉や関節をバランスよく動かして、柔軟性や筋力、調整力（バランス感覚やリズムカルに身体を操作する機能、いざという時に素早く身体を反応させ、安全性を高める機能）、全身の血液循環を良くする等、頭から足先まで運動刺激を与え、全ての機能を活性化させることができる。運動一つ一つの意味、そして動作のポイント等について学ぶ。

運動のできる服装で参加すること
雨天時は「森のステージ」で実施

👤 履修要件

対象者	要件
JOCV	○必修
SV	

対応能力・適性

危機管理能力

👤 講師

氏

[担当スタッフ：]

達成目標

日本や日本人の特徴について調べ、まとめることにより、自文化についての理解を深める

📖 講座の内容

- ・本研究は、生活班の中でグループ(6~7名)をつくり、訓練期間を通して自主計画時間等に研究し、最終発表を行うものである。
 - ・本研究を通じて、日本(人)の文化や特性について様々な考え方や捉え方があることを知り、それによって①自文化理解を深める、②自文化との対比により、任国理解を深める、③任国で日本(人)について尋ねられた時の回答の参考とする、こととする。
 - ・研究を進めるにあたっては、「活動手法」コースで学んだ手法をできるだけ活用する。
 - ・長期的には、日本や日本人について知ること、帰国後、ボランティア経験をどう社会に還元していくかを考える際の一助とする。
- * 訓練中という様々な制限がある中で、(任国での活動同様)自分たちができる範囲で研究活動を行うこと。

👤 履修要件

対象者	要件
JOCV	○必修
SV	×

対応能力・適性

- 青年海外協力隊精神の理解および実践力
- ボランティア基礎力
- ボランティア実務能力
- 異文化(他者)理解・適応力

※講師は配置しないが、生活班担当がアドバイザーとなる。

[担当スタッフ：]

目 研究の流れ

日時		実施内容
4月18日(金)	15:10~16:00	【日本(人)研究】オリエンテーション(講堂) グループ分け、リーダー決め
4月22日(火)	19:40~20:30	生活班ミーティング グループ毎にテーマ、研究計画について話し合い
4月24日(木)	8:45	「日本(人)研究企画書」提出締切 (スタッフルーム内、回収箱)
5月6日(火)	19:40~20:30	生活班ミーティング グループ毎に研究を進める
5月20日(火)	19:40~20:30	生活班ミーティング 発表方法・内容の調整
5月21日(水)	15:10~16:00	【日本(人)研究】発表方法の最終決定、機材確認
5月23日(金)	8:45	発表データ 提出締切(共有フォルダ)
5月26日(月)	13:00~17:00	【日本(人)研究】課題発表 ※詳細は「課題発表」の頁を参照
5月27日(火)	19:40~20:30	生活班ミーティング 振り返り

目 研究テーマ(例)

1) 大きなテーマ

「なぜ、日本人は勤勉か?」、「なぜ、日本人はあいまいな返事をするのか?」、「なぜ、日本は戦後復興を果たせたのか?」などの問いを設定し、その理由を探る。

2) 具体的なテーマ

「帰国子女が日本では英語をわざと下手な発音でしゃべるのはなぜか」、「なぜ、電車が時刻通りに動くのか」、「なぜ、日本はガラパゴス化するのか」、「なぜ、日本人は相手と挨拶する時にペコペコ頭をさげるのか」、「なぜ、日本のポップカルチャーが外国で人気があるのか」などの疑問から、そのバックグラウンドを探る。

3) 日本を代表するもの・こと

それがなぜ日本を代表するものなのか、他国にはない日本独特のものなのかを検討。

4) 外国からみた、日本(人)の変なところ、日本(人)の賞賛されるところを題材に、その理由や背景を検討する。

5) ある日本人研究者のおもしろい視点や分析を紹介する。

6) ある分野(「農業」、「福祉」、「高齢者介護」、「地方と都市」等)での日本の特徴を検討し、所外活動等で現場の意見を踏まえて、日本の現状として発表する。

7) ある分野(「スポーツ」、「医療」、「保守操作」等)での日本の特徴を調査し、日本の強みと弱みを発表する。

達成目標

任国ごとに赴任する国について調べ、まとめることにより、派遣される国についての理解を深める

📖 講座の内容

①5/10(土)に実施される講座「任国事情」で講師に質問すべきポイントを考える。

*「質問書」提出締切 4/24(木) 8:45

②過去のボランティアのレポートや各種調査報告書、図書資料、JICA や外務省のホームページ等を参考に、それぞれの派遣国の任国事情を研究し、まとめる。

*「任国研究レポート」提出締切 4/24(木) 8:45
A4 1~2枚程度。書式自由。

【研究事項】

- ・任国の基本情報：人口、政治体制、民族、言語、宗教、教育、気候等
- ・任国の歴史
- ・任国の経済：経済概況（GNI、経済成長率等）、主要産業、貿易等
- ・任国の文化：社会習慣、タブー等
- ・援助状況：日本の援助実績、他国からの援助状況

【参考 URL】

外務省：<http://www.mofa.go.jp/mofaj/>

JICA（各国における取り組み）：

<http://www.jica.go.jp/regions/index.html>

👤 履修要件

対象者	要件
JOCV	○必修
SV	△選択可

☑ 対応能力・適性

- 青年海外協力隊精神の理解および実践力
- ボランティア基礎力
- ボランティア実務能力
- 異文化（他者）理解・適応力

[担当スタッフ：]

達成目標

訓練候補者との交流を深めながら
体力向上の一助とする

📖 講座の内容

体力維持増進を図り、協調性、団結力を醸成する。ウォーミングアップをして体を温め、筋肉や関節の柔軟性を高め、怪我や傷害を防ぎ、スポーツや運動を楽しむ。

1. 場 所：訓練所内（グラウンド/体育館等）
2. 実施種目(例)：大縄跳び/二人三脚/ドッジボール等
3. 当日の流れ：①開会式、準備運動
②競技開始
③閉会式
④清掃、後片付け
4. 組み合わせ、対戦方法：詳細は別途連絡
5. 競技運営：競技の運営、開・閉会式の進行は、体育委員が中心になって行う。
(1)開会式：開会宣言、諸注意、選手宣誓、準備運動 (2) 競 技：班別対抗等 (3)閉会式：整理運動、成績発表・表彰、講評、閉会宣言 (4)表 彰：優勝、2、3位チームを表彰

- ・運動のできる服装で参加すること。
- ・全員で協力し合いフェアプレーに徹するとともに、ケガ等の事故に遭わないよう注意する。
- ・用具は、試合終了後、元の位置に責任を持って戻し、体育委員を中心に全員で清掃、後片付けを行う。

👤 履修要件

対象者	要件
JOCV	○必修
SV	

対応能力・適性

危機管理能力

👤 進行役

各生活班体育委員

[担当スタッフ：]

C-2-1 健康管理・安全管理-体力増強-
体力テスト①②

①4月21日(月)
②6月10日(火)
15:10~17:00

達成目標

入所時の体力を把握し、訓練期間中に維持・増強し、変化を確認することにより任国での体力維持・管理に役立てる

📖 講座の内容

体力テストでは、入所時の自分の体力を把握した上で、訓練中に各自のレベルに合わせた体力の維持・増強を実施し、修了時に変化を確認することで、任国においても健康・体力の維持ができるよう役立てる。

1. 日時

(1)体力テスト①(入所時)

4月21日(月) 15:10-17:00 場所:各指定場所

(2)体力テスト②(修了時)

6月10日(火) 15:10-17:00 場所:各指定場所

2. 体力テスト項目

(1)握力 (2)上体起

こし (3)長座体前

屈 (4)反復横とび

(5)20m シャトルラン(往復持久走)

(6)立ち幅跳び

運動のできる服装で参加すること。

👤 履修要件

対象者	要件
JOCV	○必修
SV	×

対応能力・適性

危機管理能力

👤 進行役

各生活班体育委員

[担当スタッフ:]

達成目標

JICA ボランティア事業を理解し、ボランティアに必要な知識と心構えを養う

講座の内容

WBT「青年海外協力隊の歩みと理念」の事前学習を前提に、JICA ボランティア事業の指針や他国のボランティア事業についての理解を深め、ボランティアに必要な知識と心構えを養う。

1. JICA のボランティア事業とは

- (1) JOCV/SV はボランティアか
- (2) 国が実施するボランティア事業とは
- (3) 国際ボランティアの4つの条件
- (4) 国の支援に対する考え方

2. ボランティアによる協力の意義

- (1) 日本の協力の特徴
- (2) ボランティアに期待される役割（新 JICA におけるボランティア事業）

3. 協力活動の実際（現地に学ぶ）

4. 最後に

- (1) 派遣前訓練は、お見合いの70日間（SV 35日間）
- (2) JICA ボランティア事業を取り巻く情勢と今後の方向性
- (3) ボランティアへの期待

履修要件

対象者	要件
JOCV	○必修
SV	

☑ 対応能力・適性

- 青年海外協力隊精神の理解および実践力
- ボランティア基礎力
- ボランティア実務能力
- 異文化（他者）理解・適応力

講師

局長
青年海外協力隊事務局

[担当スタッフ:]

達成目標

任国における口腔管理の重要性と
歯科疾患予防の知識を身につける

📖 講座の内容

- ◆ 虫歯と予防
- ◆ 歯周病と治療
- ◆ ブラッシング
- ◆ 親知らず、口内炎、顎関節症等

「かむ」ことは生活習慣病をも予防する

よくかむことは、胃腸での消化・吸収を促進します。さらに、唾液の分泌が高まり、その中に含まれる酵素の働きで、虫歯や歯周病の原因となる歯垢が歯につきにくくなります。また、よくかんでゆっくり食事を摂ると満腹感が得られ、肥満の予防、ひいては生活習慣病の予防にも繋がります。よくかめる健康な歯を長く維持するために、日頃から口腔ケアに努めましょう。

- ◆ 持参物
日常使用している歯ブラシ
(ブラッシングの実践をする)

👤 履修要件

対象者	要件
JOCV	○必修
SV	

対応能力・適性

危機管理能力

👤 講師略歴

氏

[担当スタッフ：診療室スタッフ]

達成目標

異文化における関係づくりのために、コミュニケーションに求められることを理解し、実践のコツをつかむ

📖 講座の内容

任地での関係づくりにはコミュニケーションが大切である。しかし、異文化コミュニケーションでは、意志疎通がうまくいかず、誤解やトラブルが生じることも少なくない。自分と相手の「当たり前」が異なる状況でコミュニケーションを行う方法を理解し、演習を通して実践のコツをつかむ。

1. コミュニケーションの前提 (1)「当たり前」
「善意」は人によって異なる (2)「違う」から相手に関心をもてる (3)コンテキストの違いを知る
2. 演習「コンセプトを分かち合う」
抽象的なコンセプトから連想する言葉をあげてもらい、(連想ゲームの要領で)他のグループ・メンバーがその言葉を当てる。そのうえで、わかりやすかったもの、わかりづらかったものについて、なぜわかりやすさに違いが生じるか、話し合う。
3. コミュニケーションのスキル
(1)相手を受け容れる
(2)アクティブに聴く
(3)違うこと、わからないことを明確にする
(4)「なぜ？」と問いかける
4. 演習「言葉の背景の違いを理解し合う」
候補者も多様な背景、価値観、思いを持っている。同じ言葉に対しても、異なるイメージを持っている。では、その違いはどこから来ているのか？ 2人1組となり、「青年海外協力隊」に対して持っていたイメージの異同について、なぜそう考えたのか、考えを深めるために話し合う。

学んだスキルを課題発表等で実際に使用するという
ことを意識しながら講義を受けること。

👤 履修要件

対象者	要件
JOCV	○必修
SV	△選択可

☑ 対応能力・適性

- ボランティア基礎力
- ボランティア実務能力

👤 講師

氏

[担当スタッフ:]

C-4-2 健康管理・安全管理-安全管理-
海外における交通安全対策
C-4-3、C-4-4 健康管理・安全管理-安全管理-
海外における交通安全対策
(自動二輪、不整地走行練習)

4月24日(月)
14:10~16:00
講堂
※バイク貸与予定者
は引き続き
16:10~17:00

達成目標

任国における交通事故防止に必要な安全意識の向上
を図るとともに、日本での安全神話意識を払拭させる

講座の内容

JICA ボランティア派遣国の交通事情と交通事故の事例を解説
と共に紹介し、日本と開発途上国の交通事情の相違を確認し、
派遣国における交通事故防止に必要な安全意識の向上を図る。

C-4-2

1. 交通実態の把握

- (1) 全世界における JICA 関係者の交通事故発生状況
- (2) JICA 関係者の交通死亡事故事例
- (3) 安全確保が難しい派遣国の交通事情と交通事故事例

2. 歩行中の交通事故防止

- (1) 歩行中の交通事故事例
- (2) 斜め横断、車の陰からの横断、背面歩行の危険
- (3) 歩行中の交通事故防止対策

3. 自転車乗用中の交通事故防止

- (1) 自転車乗用中の交通事故事例
- (2) 自転車乗用中の交通事故防止対策

4. 同乗中の交通事故防止

- (1) 同乗中の交通事故事例
- (2) 乗車する車・ドライバー選択のポイント

5. 運転中の交通事故防止

- (1) 運転中の交通事故事例
- (2) 安全運転のポイント

6. 交通事故当事者の措置

- (1) 原則は現場保存、連絡先は JICA 事務所
- (2) 安易に書類への署名はしない

C-4-3

6. バイクを安全に乗るために (16:10~17:00)

※ バイク貸与予定者のみ

C-4-4

7. 自動二輪 (バイク) 不整地走行練習 (課外)

※自動二輪 (バイク) 貸与予定者の中で対象者のみ

履修要件

対象者	要件
JOCV	○必修
SV	

対応能力・適性

危機管理能力

講師略歴

氏

JICA 総務部 安全管理室
交通安全対策アドバイザー

技術顧問

協力隊技術顧問

[担当スタッフ:]

達成目標

任国の感染症についての知識を深め、
予防と罹患時の対処法を身につける

 講座の内容

感染症の基礎知識


- ◆ 任国での感染症
- ◆ 生活上の基本的な注意点

各感染症

- ◆ マラリア、デング熱など各疾患
- ◆ 症状と対処法
- ◆ 予防接種

性感染症


- ◆ 性感染症とは
- ◆ HIV/AIDSなどの各疾患
- ◆ 性感染からの予防方法

 履修要件

対象者	要件
JOCV	<input type="radio"/> 必修
SV	

対応能力・適性

危機管理能力

 講師略歴

氏

JICA 国際協力人材部 健康
管理課 感染症顧問医


[担当スタッフ：診療室スタッフ]

達成目標

針刺し事故後の HIV 感染予防対策と対処法を学ぶ

 講座の内容


- ◆ 針刺し事故の予防
- ◆ 針刺し事故発生状況
- ◆ 針刺し事故後の対応（ガイドラインについて）

 履修要件

対象者	要件
JOCV	医療関係職種 ○必修
SV	その他 △選択可

対応能力・適性

危機管理能力

 講師略歴

氏

JICA 国際協力人材部 健康
管理課 感染症顧問医

* 医療関係職種以外の方の受講希望は、2F 掲示板の
「講座希望表」に記入。
締め切り：4月22日（火）13:00

[担当スタッフ：診療室スタッフ]

達成目標

突発的な事故・負傷に対する応急処置の方法を学び、
事故防止思想と実践で役立つ技術を身につける

📖 講座の内容

◆救急法概論（全体講義）

◆止血法（実技）

① 直接圧迫法

患部を直接圧迫する止血法。効果的な方法と材料、注意点について学ぶ。

② 間接圧迫法（指圧止血法）

動脈を押さえることによって血流を止める止血法。どの部位をどのように押さえると効果的か、実践しながら学ぶ。

◆三角巾の使用法（実技） 三角巾固定法とそのポイント、三角巾の多様な使い方などを学ぶ。

◆心肺蘇生法・AED 利用法（実技）

① 心肺蘇生人形を用いた心肺蘇生法。

② AED（自動体外式除細動器）の使用法。

運動着等の動きやすい服装で受講すること。

👤 履修要件

対象者	要件
JOCV	○必修
SV	

対応能力・適性

危機管理能力

👤 講師略歴

氏

[担当スタッフ：]

達成目標

自分の知恵や経験、考えをまとめ、発表するためのプレゼンテーションのポイントを理解する

📖 講座の内容

任地での活動では、情報共有や報告など、プレゼンテーションを行う機会が多い。しかし、自分の言いたいことを言うだけがプレゼンテーションではない。コミュニケーションとしての「伝わる」プレゼンテーションのポイント、実施方法を学ぶ。

1. 伝わるプレゼンテーションとは？
 - (1) メッセージを明確にする
 - (2) エピソードを活かす
 - (3) 状況に最もあった伝え方をする
 - (4) 聞き手のことを考える
2. プレゼンテーションの作り方
 - (1) 対象者を考える
 - (2) 構成を考える
 - (3) 素材をあげ、整理する
 - (4) 資料をまとめる
3. プレゼンテーションの実施のコツ
 - (1) 実施時の心構え
 - (2) 実施時の話し方、視線、態度、表情
4. 演習「自分の「得意なこと・できること」の魅力を伝える」

学んだスキルを課題発表等で実際に使用するというこ
とを意識しながら講義を受けること。

👤 履修要件

対象者	要件
JOCV	○必修
SV	△選択可

☑ 対応能力・適性

- ボランティア基礎力
- ボランティア実務能力

👤 講師

氏

[担当スタッフ:]

達成目標

多様な人が参加しやすい場づくりと、ファシリテーションの実践を通して、ポイントを理解する

📖 講座の内容

ファシリテーターとは、ワークショップやミーティングなどの場で、参加者から意見が出るように工夫したり、合意形成をする手伝いをしたりする人のことである。ファシリテーションは任地の活動で必要なだけでなく、社会人としての必要なスキルであるため、考え方を学び、実践することで派遣前訓練のグループ活動や任地での活動、帰国後に活せるようにする。

1. 場づくりとファシリテーターの役割 (1)多様な人が参加できる場づくりの必要性 (2)ファシリテーターの役割
2. ファシリテーションの基礎 (1)ファシリテーションスキル及び基本的なコツ (2)議論の構成を考える
3. 対立している時の場づくり
(1)対立のポイントを考える
(2)合意形成を進める方法
4. 演習①
「派遣前訓練でファシリテーションが必要となるのは？」
演習②
「生活班活動をもっと効果的にするためには？」

学んだスキルを課題発表等で実際に使用するという
ことを意識しながら講義を受けること。

👤 履修要件

対象者	要件
JOCV	○必修
SV	△選択可

☑ 対応能力・適性

- ボランティア基礎力
- ボランティア実務能力

👤 講師

氏

[担当スタッフ：]

達成目標

我が国のODAの現状とJICA事業を理解し、ODAにおけるボランティア事業の位置付けを理解する

📖 講座の内容

日本のODAとJICA事業の概要について学ぶ。

1. ODAにおけるJICA

- (1) JICAの組織（組織図、協力対象国数、事務所数）
- (2) JICAの業務
- (3) JICA予算の推移
- (4) JICAの技術協力の地域・分野配分実績

2. JICAの取組方針

- (1) 地域別・国別アプローチ
- (2) 国別事業実施方針
- (3) 要請から案件検討までの流れ
- (4) JICAの援助形態
- (5) ボランティア事業のプログラム化

3. 「人間の安全保障」とボランティア活動

- (1) わが国ODA政策における「人間の安全保障」の理解
- (2) 基本方針と4つの協力実践方針
- (3) MDGs（ミレニアム開発目標）

👤 履修要件

対象者	要件
JOCV	○必修
SV	

対応能力・適性

青年海外協力隊精神の理解
および実践力

👤 講師

青年海外協力隊事務局

[担当スタッフ:]

達成目標

世界経済の動きを疑似体験し、そこに存在する諸問題について考える

📖 講座の内容

参加型ゲームを通して世界経済の動きを疑似体験し、そこに存在する諸問題について考える。主な狙いは次の3つである。

1. 貿易を中心とした世界経済の基本的な仕組みについて理解する。
2. 自由貿易や経済のグローバル化が引き起こす様々な問題に気づく。
3. 地域間格差や環境問題の解決に向けて、国際協力や私たち一人ひとりの行動のあり方について考える。

【講座の流れ】

- ・ 貿易ゲーム
- ・ 振り返り…ゲームを体験して気付いたこと、考えたことなどを意見交換し、互いの理解を深める。

👤 履修要件

対象者	要件
JOCV	○必修
SV	△選択可

☑ 対応能力・適性

- 青年海外協力隊精神の理解および実践力
- ボランティア基礎力
- ボランティア実務能力
- 異文化（他者）理解・適応力

👤 進行役

訓練所スタッフ

お願い

- 貿易ゲームの経験がある方は内容を明かさな
いこと

[担当スタッフ:]

達成目標

女性が罹りやすい病気の基礎知識と自己管理のための知識を身につける

📖 講座の内容

- ◆ 婦人科疾患の基礎
 - ・ 月経について／生殖器の解剖
 - ・ 基礎体温及び基礎体温のつけ方
 - ・ 清潔と不潔の概念
- ◆ 婦人科疾患の各論（赴任して多い婦人科疾患）
- ◆ 婦人科受診のノウハウ
- ◆ 更年期とは／更年期障害の症状
- ◆ 婦人科癌疾患

男性にも意義ある講座

保健衛生講座は自己健康管理の知識の習得を目的としているため、婦人科講座については、そのねらいと内容から、男性は必須受講としていません。しかしながら、女性のパートナーとしての男性の役割を考えると、男性にとっても意義のある講座です。

*SV(男女とも)およびJOCV 男性の受講の希望は、
2F 掲示板の「講座希望表」に記入。
締め切り：4月29日(火) 13:00

👤 履修要件

対象者	要件
JOCV	女性 ○必修 男性 △選択可
SV	△選択可

対応能力・適性

危機管理能力

👤 講師略歴

氏

[担当スタッフ：診療室スタッフ]

達成目標

任国で心身ともに健康で過ごすことの重要性を理解し、任国でのストレス対処法を学ぶ

📖 講座の内容

- ◆ メンタルヘルスに関する基礎知識
- ◆ 予防と早期発見
- ◆ ストレスに対処するには
- ◆ 周囲との関係
- ◆ 任国とストレス
- ◆ うつ病について

👤 履修要件

対象者	要件
JOCV	<input type="radio"/> 必修
SV	

対応能力・適性

危機管理能力

👤 講師略歴

氏

[担当スタッフ：診療室スタッフ]

達成目標

JICA ボランティアに参加した動機を再確認し、
ボランティア精神とは何かを考える

📖 講座の内容

2年間の協力活動のベースとなる、“ボランティアスピリット”について改めて考える機会とする。

JICA ボランティアに参加した動機を各自が再確認し、訓練に取り組む意識を高める。また JICA ボランティアとして途上国で活動する際に求められるもの、立場、取り組み姿勢を、一般的な国内でのボランティア活動との比較などを通じて、候補者同士で意見交換し理解を深める。

【テーマ】

- ① JICA ボランティアに参加したきっかけ、動機について発表する。
- ② 一般的に考えられる「ボランティア活動」について、候補者同士の意見交換を行う。その議論を踏まえ、「JICA ボランティア」とは何かについて考える。

👤 履修要件

対象者	要件
JOCV	<input type="radio"/> 必修
SV	

対応能力・適性

- 青年海外協力隊精神の理解および実践力
- ボランティア基礎力
- ボランティア実務能力

👤 進行役

訓練所スタッフ

[担当スタッフ:]

達成目標

任国及びより広い地域における JICA の協力を踏まえた上で、その中での自身のボランティア派遣の位置付け及び方向性を捉える

 講座の内容

JICA ボランティアが、「どこで」(地域、国、任地)、「何をするか」(課題、分野、職種)という整理のうち、主に前者の切り口で、ボランティア派遣事業を俯瞰する講義である。

各人の派遣国及び当該地域における JICA の協力、ならびにその一つを成すボランティア派遣の基本的な考え方を理解した上で、各人が派遣される案件の位置づけ、及びボランティアの担う役割を大所高所の視点で捉える機会とする。

併せて、地域の共通課題に対する取組み(在外研修等)や、各国で実施されている分野課題別の取組み(分科会活動等)等、ボランティア活動に役立つ情報を提供する。


なお、JICA 事業全般については、別途行う「JICA 事業概要」で触れるため、本講義での説明は最低限にとどめる。

また、各任国の歴史・経済・文化・援助状況や現地の生活の様子等の情報については「任国研究」にて候補者自身で調べるとともに、別途行う「任国事情」で提供されるため、本講義では扱わない。

1. 任国における JICA 事業、及びボランティア派遣
 - (1) JICA の協力の基本的な考え方
(重点分野、開発課題等)
 - (2) ボランティア派遣の基本的な考え方
(派遣の現状、これまでの成果、今後の派遣計画等)
 - (3) 他の JICA 事業とボランティア事業の関連性
(帰国研修員との協働等)
 - (4) グループ型派遣の説明
(グループ型派遣の候補者がいる場合)
2. ボランティア活動に役立つ情報
 - (1) 地域共通的な取組みの事例
(在外研修等)
 - (2) 分野課題別の取組み事例
(分科会、技術顧問の活用、他機関との連携等)

【配布資料】

- ・「国別ボランティア事業概要」、「ボランティア配置図・リスト」、「前任者情報」、その他の資料(必要に応じ)

 履修要件

対象者	要件
JOCV	<input type="radio"/> 必修
SV	

対応能力・適性

- 青年海外協力隊精神の理解および実践力
- ボランティア基礎力
- ボランティア実務能力
- 異文化(他者)理解・適応力

 講師

青年海外協力隊事務局
 各地域課 国担当職員

- 各自の派遣国で指定された時間以外は語学自習時間となります。

[担当スタッフ:]

達成目標

日本と派遣国の治安状況の違いを理解し、安全を確保するための基本的な心構えと具体的な方法を学ぶ

📖 講座の内容

海外での犯罪実態を知り、安全対策を学ぶ。

- 1.危機管理の重要性と JICA の安全管理
- 2.緊急事態への心構えと発生時の対応（自然災害等を含む）
- 3.テロ（特に爆弾テロ）、大衆運動等のリスク対策
- 4.誘拐被害防止対策
- 5.JICA 関係者の犯罪被害実態
- 6.住居の安全対策
- 7.屋内犯罪被害と安全対策
- 8.屋外犯罪被害と安全対策
- 9.性的犯罪被害防止対策
- 10.任国外旅行の留意点
- 11.薬物犯罪
- 12.その他

13:00~15:10 全体講義（講堂）

15:20~16:00 男女別講義
女性（講堂） 男性（森
のステージ）

👤 履修要件

対象者	要件
JOCV	○必修
SV	

対応能力・適性

危機管理能力

👤 講師略歴

氏

JICA 総務部 安全管理室
安全対策アドバイザー

氏

JICA 総務部 安全管理室
安全対策アドバイザー

[担当スタッフ：]

達成目標

生活習慣病の予防と対策を学ぶ

📖 講座の内容

- ◆ 日本人の死亡原因と罹患率
 - ・ 死亡原因の推移
 - ・ がんの部位別死亡率
- ◆ 喫煙と健康について
 - ・ 死亡原因と喫煙の関係
 - ・ 受動喫煙
- ◆ 生活習慣病と動脈硬化疾患
 - ・ メタボリックシンドローム
 - ・ 運動療法／食事療法
- ◆ 新世代の生活習慣病
- ◆ 健康の自己管理について

👤 履修要件

対象者	要件
JOCV	○ 必修
SV	

対応能力・適性

危機管理能力

👤 講師略歴

氏

JICA 国際協力人材部
健康管理課 内科顧問医

「メタボリックシンドローム」とは

- ① 腹部肥満（腹囲）
男性：85cm 以上
女性：90cm 以上
- ② 中性脂肪（トリグリセリド）
150mg/dl 以上
- ③ HDL(善玉)コレステロール
40mg/dl 未満
- ④ 血圧
130/85mmHg 以上
- ⑤ 空腹時血糖 110mg/dl

以上の①に加え、②以下で2つ以上当てはまれば、
あなたはメタボリックシンドロームの状態です！

[担当スタッフ：診療室スタッフ]

達成目標

ボランティアの活動、現地の生活の様子等について
ボランティア経験者から情報を得る

📖 講座の内容

任国での生活について、滞在経験のある講師から「生の情報」を聞く。講座は、基本的に JOCV 候補者、SV 候補者に分かれて実施する。事前に「質問書」をまとめ、質疑応答をしながら講義を進めていく。

任国情報の例

- (1) 日常の食生活及び外食、飲料水、入手可能な嗜好品
- (2) 衣服について（正装・仕事着・普段着・喜ばれる格好）
- (3) 任国の風習・宗教・文化・習慣
- (4) 任国での人とのつきあい
- (5) 現地の治安状況・安全対策・危機管理として具体的に
行っていること
- (6) ボランティアがよく利用する日常の交通手段・現地の
交通事情・交通機関の利用料
- (7) 郵便、通信事情
- (8) 日用品等生活物資、家電製品等
- (9) その他留意事項（生活環境関連）
- (10) 語学について（上達方法、努力したこと、学校・教材等）

👤 履修要件

対象者	要件
JOCV	○必修
SV	

☑ 対応能力・適性

- 青年海外協力隊精神の理解および実践力
- 異文化（他者）理解・適応力
- 危機管理能力

👤 講師

JICA ボランティア経験者、
調整員等在外事務所経験者

[担当スタッフ：]

📅 当日までの流れ・アンケート提出について

日 時	実施内容
4月17日(木) 12:30~12:50	国別リーダー会議（講堂）
4月24日(木) 8:45	「任国事情質問書」提出締切
	「任国研究レポート」提出締切
5月10日(土) 13:00~15:10	「任国事情」当日
5月12日(月) 8:45	「アンケート」提出締切

達成目標

任国における職種分野別の技術水準や円滑な協力活動を行うための情報収集をする

📖 講座の内容

職種分野別のグループに分かれ、JICA ボランティア経験者から開発途上国での協力活動を円滑に行うための情報を収集する。

※グループ別の名簿や指定場所等は後日掲示するので、必ず確認すること。グループ変更を希望する場合は、担当スタッフへ伝えること。

📅 当日までの流れ・アンケート提出について

日時		実施内容
4月23日 (水)	12:30～ 12:50	職種別活動セミナー（仮）リーダー会議（A会議室）
4月29日 (火)	8:45	・「計画書」提出締切 (スタッフルーム内、回収箱) ・グループ変更締切 (担当スタッフへ)
5月10日 (土)	15:30～ 17:00	「職種別活動セミナー」当日
5月12日 (月)	8:45	「アンケート」提出締切 (スタッフルーム内、回収箱)

👤 履修要件

対象者	要件
JOCV	○必修
SV	×

☑ 対応能力・適性

- 青年海外協力隊精神の理解および実践力
- ボランティア基礎力
- ボランティア実務能力
- 異文化（他者）理解・適応力

👤 講師

青年海外協力隊経験者

[担当スタッフ：]

達成目標

経験者から困難なことへの対処、心構え、コツなど実際の様子を聞き、活動に対する意識を高める

📖 講座の内容

SV 経験者からボランティア活動を行う際に直面した困難及びその対処法、活動を円滑に行う上での心構え、コツなどを聞き、円滑な現地活動に役立つ気付きを得る。

(1) 途上国の特徴（ボランティアが一度は経験する悩み）

- 1) 活動に関連した途上国の特徴
- 2) 途上国が途上国である理由
- 3) 不便な生活とそれを乗り越えるエネルギー
- 4) 脆弱な組織、不確実な技術レベル
- 5) 価値観と行動特性の違い
- 6) 受け入れ側の現状認識の不十分さ
- 7) ボランティアと受け入れ側のギャップ

(2) JICA ボランティアが直面する問題と問題解決の方法

- 1) 生活基盤の確立
- 2) 配属先での活動における問題と活動基盤の確立
- 3) 受け入れ先の問題の本質へのチャレンジ
- 4) 問題解決に対する事務局、事務所関係者の役割

👤 履修要件

対象者	要件
JOCV	×
SV	○必修

対応能力・適性

- 青年海外協力隊精神の理解および実践力
- ボランティア基礎力
- ボランティア実務能力
- 異文化（他者）理解・適応力

👤 講師

シニア海外ボランティア経験者

[担当スタッフ]

「自主講座」について

希望日時
訓練所内各所

1. ね ら い

様々な専門性を持つ候補者同士が、その専門性を活かしながら自主講座・自主勉強会を企画実施し、お互いに学び合う。訓練中、自ら企画・準備・実施することで、赴任後の活動に向け経験を積む機会とする。

2. 実施可能時間、場所

時 間：5：30～22：30 の内、課業時間帯以外

※但し、日程上の課業時間帯以外でも、課業が組まれている日時は除く

※月～金の19：00～22：30 は語学自習に最低2時間充てること

場 所：訓練所内で、実施に相応しい場所

3. 内 容

- ・候補者の資質向上に資するもの
- ・主として訓練中の候補者同士が講師となり得るもの
- ・気分転換を目的とした団体スポーツ、フェスティバル等は自主講座として認めない

＜過去の実施例＞

日本語教師研修会、開発計画手法、PC 講座、教育系隊員による模擬授業など

4. 実施手順

	内 容	期 限
1	「自主講座計画書」提出（別添様式）	実施1週間前までに（スタッフルームへ）
2	スタッフより承認	提出後の3日以内 (全体日直室前にて承認済計画書の掲示で確認)
3	実施	
4	「自主講座報告書」提出（別添様式）	実施後1週間以内（スタッフルームへ）

※計画書の提出後、実施の内容についてスタッフが検討した結果、再度内容の変更を求める場合もある

5. 資機材

- ・講座に必要な資機材は原則として自分たちで調達、購入すること
- ・資料のコピー、貸与可能な機材（プロジェクターなど）は事前に依頼があれば便宜を図る
- ・火気を使用する場合は、別途『火気類使用許可願』をスタッフルームに提出
(用紙はスタッフルーム、または共有フォルダに有り)

自主講座実施計画書

氏 名 : _____
派遣予定国 : _____
職種/指導科目 : _____
生活班 : _____ 班

1. 講座名 :
2. 講師名 :
3. 実施日時 :
4. 実施場所 :
5. 目的 :
6. 内容 :

7. 参加予定者氏名・派遣予定国・職種/指導科目 : (☑多い場合は別紙添付)

(計 名)

8. 火気使用 : する ・ しない

(☑使用する場合は、別途火気類使用許可願を提出)

9. 使用備品・教材 (数量も記載すること) :

10. 配布資料 : あり ・ なし

(配布資料の印刷をスタッフに依頼する場合は講座実施の2日前までに申し出ること)

以上

訓練総括	訓練1班	訓練2班	訓練3班	受付

※受取後、自主講座担当→スタッフ回覧→自主講座担当

自主講座実施報告書

氏 名： _____
派遣予定国： _____
職種/指導科目： _____
生 活 班： _____ 班

1. 講座名：
2. 講師名：
3. 実施日時：
4. 実施場所：
5. 目的：
6. 内 容：

7. 実施成果等（レジユメ、資料等あれば添付のこと）：

8. 参加者氏名・派遣予定国・職種/指導科目（多数の場合は参加者リストを添付）：

（計 名）

訓練総括	訓練 1 班	訓練 2 班	訓練 3 班	受付

※受取後、自主講座担当→スタッフ回覧→自主講座担当

訓練資料
講座関連実施要領
【第二部】

平成 26 年度第 1 次隊 駒ヶ根

青年海外協力隊訓練所

JICA KOMAGANE TRAINING CENTER

目 次

JICA ボランティアに求められる能力・適性	1
講座について・諸注意等	2～3
各種オリエンテーション一覧	4～5
講座一覧（コース別）	6～9
講座資料の見方	10
ストレスマネジメントに関するレポートについて	11
講座レポートについて	12～13
講座テストについて	14
WBT および JICA-Net による各インターネット事前学習容	15～19
各講座の目的・内容	20～51、55～73
自主講座について	52、74
「自主講座実施計画書」様式	53、75
「自主講座実施報告書」様式	54、76

達成目標

国際社会における援助の潮流と日本のODAの基本政策を理解する

📖 講座の内容

国際協力は何故必要なのだろうか。第二次世界大戦後、日本は多くの援助を必要としていた。そこから日本はどのように発展し、現在の先進国となったのだろうか。日本が行なってきたODAの変遷と現在の国際援助の潮流について学ぶ。

1. 開発途上国の現状

- (1) 開発途上国の概況
- (2) 人口を巡る状況
- (3) 地球環境を巡る状況
- (4) グローバル化を巡る状況
- (5) 開発援助委員会 (DAC) とは

2. 国際的な援助潮流

- (1) 2000年までの援助の潮流
- (2) 2000年以降の援助の潮流

3. 我が国のODAの過去・現在・未来

- (1) 戦後世界経済と日本のODAの変遷
- (2) 日本のODA政策

共有フォルダ→訓練資料→講座関連内に格納予定の事前資料に目を通して出席のこと。

👤 履修要件

対象者	要件
JOCV	○必修
SV	×

対応能力・適性

- 青年海外協力隊精神の理解および実践力
- 異文化（他者）理解・適応力

👤 講師略歴

氏

[担当スタッフ:]

達成目標

紛争、災害、貧困の地の子供達に音楽と映像で近づき、国際協力とは何か、ボランティアとは何かについて迫る

♪ 公演の内容

世界で起こっている様々な出来事を大画面のビデオ・スライドに映し出し、語りと曲で構成していく「映像と音楽のシンクロ」ステージ。

国際協力を始めるきっかけになったフィリピン、1994年内戦下のアフリカ・ソマリア、2004年のイラン南東部地震、そして東日本大震災とその後の心のケアの活動。

各所で出会った人々との触れ合い、自身の活動を通して国際協力とは何か、ボランティアとは何かについて迫る。

TPO を踏まえた服装で出席のこと。

履修要件

対象者	要件
JOCV	○必修
SV	△選択可

対応能力・適性

- 青年海外協力隊精神の理解および実践力
- 異文化（他者）理解・適応力

演奏者

氏

[担当スタッフ：]

達成目標

普段とは異なる生活環境下においても柔軟に適應する力と、共同作業を行う力を養う

📖 訓練の内容

野外訓練は、座学ではなく、屋外において2日間にわたって実施される。野外訓練では生活班と異なる新たなチーム編成を行い、2日間生活を共にする。各生活班より選出された野外訓練委員2名が各チームに入り活動を進めるサポート等をする。野外訓練中は、限られた食材と備品で工夫して炊事を行う。また、JICA ボランティアが派遣される多くの国々では、何日間も断水や停電が続く生活環境が多いことから、任国での生活の練習として水や電気の使用は禁止または制限される。

野外訓練中にはチーム活動のほかに、任国で役立つ技術を学ぶ生活技法実習やチームビルディング等の実施を予定している。

※詳細内容は生活班ミーティングでの野外訓練委員からのアナウンス、また野外訓練オリエンテーションにて説明。

👤 履修要件

対象者	要件
JOCV	○必修
SV	×

☑ 対応能力・適性

- 青年海外協力隊精神の理解および実践力
- ボランティア基礎力
- ボランティア実務能力

[担当スタッフ:]

達成目標


情報収集の重要性と収集方法について理解する

 講座の内容

ボランティアが派遣されてまず行うことは現状把握である。現状把握のためにはさまざまな情報を収集する必要があることから、情報収集の方法を学ぶ。

1. 情報収集に関して (1)
情報収集の必要性 (2)
情報収集の流れ
(3)情報源・情報収集の主な例 (文献レビュー、直接観察、インタビュー、質問票等)
(4)情報収集方法のメリットとデメリット
2. グループワーク

学んだスキルを、実際に現地で使用するという意識しながら講義を受けること。

 履修要件

対象者	要件
JOCV	○必修
SV	×

対応能力・適性

- ボランティア基礎力
- ボランティア実務能力

 講師

[担当スタッフ:]

達成目標


参加型調査ツールを学び、任地でどのように活かせるか具体的にイメージできるようになる

 講座の内容

講義および演習を通じて参加型調査手法の基礎を学び、任地での活動の一助とする。

1. 参加型とは【講義】 (1)なぜ参加型を重視するのか (2)参加型調査ツールの紹介 (3)参加型調査手法のメリットとデメリット
2. 参加型調査ツールを用いた実践【演習】

学んだスキルを、実際に現地で使用するという意識しながら講義を受けること。

 履修要件

対象者	要件
JOCV	○必修
SV	×

対応能力・適性

- ボランティア基礎力
- ボランティア実務能力

 講師

[担当スタッフ:]

達成目標

普段と違う環境でどのように人々と関わり合い、相手の役に立てるかについて実践を通じて考える

📖 講座の内容

【所外活動】 ボランティアに必要な資質を実践する機会となる。普段と異なる環境に適応し、活動先のニーズに合った活動を実践する。

【振り返り】 様々な受け入れ先での二日間の活動や経験をグループ別に分かれて振り返り、任国での活動に活かせる気づきや学びを共有する。

👤 履修要件

対象者	要件
JOCV	○必修
SV	×

対応能力・適性

- 青年海外協力隊精神の理解および実践力
- ボランティア基礎力
- ボランティア実務能力
- 異文化（他者）理解・適応力

[担当スタッフ：]

目 当日の流れ～物品返却について

日時		実施内容
4月15日(火)	8:45	希望票提出締切 (スタッフルーム前の回収箱)
5月20日(火)	15:10~16:00	所外活動オリエンテーション(講堂)
5月22日(木)	8:30~17:00	所外活動 1日目
5月28日(水)	8:30~17:00	所外活動 2日目
5月29日(木)	16:10~17:00	振り返り(講堂・小講堂・森のステージ) アンケート・報告書提出

物品貸出・民族衣装貸出 関連

貸出	返却	貸出物品
5月20日(火) 17:10~17:40	6月2日(月) 17:10~17:40	物品(長靴・つなぎ・ゴム手袋・エプロン) (ピロティ倉庫にて)
5月27日(火) 12:30~12:50	5月29日(木) 12:30~12:50	民族衣装(必要な方のみ) (生活技法室にて)

※物品はきれいに洗濯、洗浄し乾かして返却。

※民族衣装は洗濯しないで返却。

※破損などがある場合は、スタッフに報告。

目 所外活動先業種

活動先業種	事業概要(抜粋)	活動内容(例)
高齢者施設	特別養護老人ホーム、デイサービスセンター、 認知症高齢者グループホーム	利用者の話し相手・交流、環境 整備、レクリエーション、散歩、 スタッフの手伝い
障がい者 福祉施設	知的障がい者福祉施設、障がい者 支援施設、福祉共同作業所	
児童福祉施設	保育園、幼稚園、児童館	子供との交流、スタッフの手伝 い、掃除、任国の紹介
図書館	図書館	棚整理、カウンター業務、内容 入力、ラベル貼り
花卉栽培	花卉栽培	花手入れ、草取り、ハウス内作 業、肥料やり、ポット片づけ
野菜栽培・ 農業全般	野菜栽培、椎茸栽培、稲作	畑手入れ、草取り、肥料やり、 残渣の片づけ

演習 Bafa Bafa (異文化体験シミュレーション)

5月23日(金)
15:10~17:00
各指定教室

達成目標

異文化を疑似体験し、異文化理解を深める

講座の内容

任国へ赴任すると、これまでに体験したこともない様々な異文化に出会う。Bafa Bafa は、擬似的な国を作り上げ、その異文化に触れる機会を通じて、どのように感じるか、どのように行動するか認識することを目的としている。

■グループ分け

後日、グループ分けを掲示するので、各自確認し、実施当日は指定教室に集合すること。掲示でリーダーとなっている人には、Bafa Bafa リーダー会議に出席してもらう。

【Bafa Bafa リーダー会議】

5月21日(木) 19:00~20:00 (セミナールームA・B)

履修要件

対象者	要件
JOCV	○必修
SV	×

☑ 対応能力・適性

- ボランティア基礎力
- ボランティア実務能力
- 異文化(他者)理解・適応力

👤 進行役

訓練所スタッフ

お願い

- BafaBafa の経験がある方は内容を明かさないと

[担当スタッフ:]

達成目標

異文化理解の意味と適応について学ぶ

📖 講座の内容

文化とは何だろうか。異文化を理解するとはどのようなことだろうか。

異文化・カルチャーショックを体験する「異文化体験シミュレーション Bafa Bafa」に現れた現象や行動、心の動きを解説する。また、その考察を踏まえ、文化が形成される過程に触れ、任地での生活や協力活動を円滑に行うために異文化をどのように理解し、自分を適応させたらよいかを学ぶ。

また、文化人類学的視点、言語学的視点など多岐にわたる方面からのアプローチにより、異文化の本質や異文化に対する心構えについて学ぶ。

1. Bafa Bafa とはどんなゲームだったのか
ローカルルール、規則や文化を決める要素等
2. 「異文化理解」の規則
規則、武道、アフォーダンス等
3. 「異文化理解」から「他者理解」へ
 - (1) 音としての言語、文としての言語
 - (2) 異文化コミュニケーションの間違い
4. 言語、学術、普遍性
 - (1) 異質なものと向き合うこと
 - (2) 文化相対主義と人類学
5. 実践に生かすために
 - (1) 異文化の中に立つ苦しさや快感
 - (2) カルチャーショック
 - (3) 逆カルチャーショック

👤 履修要件

対象者	要件
JOCV	○必修
SV	×

☑ 対応能力・適性

- ボランティア基礎力
- ボランティア実務能力
- 異文化(他者)理解・適応力

👤 講師

氏

[担当スタッフ:]

達成目標

コミュニケーション技法を活用して課題発表を行い、生活班担当と一緒に振り返ることで学びを得る

📖 講座の内容

自主計画時間等を使って研究してきた課題について、発表を行う。発表は、質疑応答を含め各グループ 13 分間で行う。

課題発表：日本（人）について

(1)日時

5月26日(月) 13:00~17:00

(2)会場

講堂または森のステージ（2会場に分かれて実施）

(3)他のグループの発表を見て、発表者の役に立つ感想やアドバイスをコメント用紙に記入し、フィードバックする。

「振り返り」については、課題発表翌日の5月27日（火）19:40~20:30の生活班ミーティングにて実施する。振り返りの内容は以下のとおり。

- ・ 準備から発表までの流れについての自己評価
- ・ 発表時の反応や、コメント用紙から得られた他者評価
- ・ 単元全体を通じて得られた学びの共有
- ・ 生活班担当からのコメント

👤 履修要件

対象者	要件
JOCV	○必修
SV	×

☑ 対応能力・適性

- ボランティア基礎力
- ボランティア実務能力
- 異文化（他者）理解・適応力

※講師は配置しないが、生活班担当を配置する

[担当スタッフ：]

達成目標

世界の宗教について理解を深め、日本人の宗教観を学ぶ

📖 講座の内容

私たち日本人は「宗教は自分とは無縁なもの」と思っていないだろうか。しかし、世界の大部分の国々では「宗教」は人々の生きる規範となっている。

世界で多くを占める「一神教」について学び、日本人の宗教観を再認識することは、任国での活動や生活に役立つだろう。宗教を通じて異文化への理解を深めることが、活動の第一歩となるかもしれない。

【講義前半】

世界の宗教を概観する。

1. 宗教とは何か（社会学的見地から）
2. ユダヤ教、キリスト教、イスラム教の成り立ちとその相互関係をどう理解するか

【講義後半】

大半の日本人が持つ宗教観と、それが世界でどう受け止められるのかについて学ぶ。

1. 日本の宗教をどう理解するか
2. 国際社会において、公務に携わる国際人としてどう行動すれば良いか

受講の前に「宗教とは何か」を自分なりに考えて臨むこと。

👤 履修要件

対象者	要件
JOCV	○必修
SV	×

対応能力・適性

- ボランティア基礎力
- 異文化（他者）理解・適応力

👤 講師

氏

[担当スタッフ:]

達成目標

任国における職種分野別の技術水準や
適正技術について理解する

📖 講座の内容

職種分野別のグループに分かれ、担当の技術顧問から開発途上国での協力活動を円滑に行うために必要かつ効果的な手法を学ぶ。

- ・ 対象者の名簿や指定場所等は、後日掲示で確認（対象者以外は語学自習）
- ・ 講師の判断により、実施しない職種分野あり
- ・ 事前の掲示を必ず確認
- ・ リーダー会議：5/23（金）12：30～@講堂
※リーダーと指定された方は必ず参加してください

■平成26年度 技術顧問一覧

平成26年度 技術顧問・技術専門員・国際協力専門員

担当職種分野	氏名	担当職種分野	氏名
稲作・野菜等		コンピューター技術等	
コミュニティ等		PCインストラクター等	
コミュニティ等		家政・生活改善等	
漁業生産・養殖・水産資源管理等		環境教育等	
自動車整備等		手工芸等	
自動車整備等		幼児教育	
土木全般		美術	
建築全般		日本語教育	
看護師・助産師・保健師		小学校教育等	
理学/作業療法士等		理数・数学教育等	
障害児・者支援等		体育/スポーツ全般	
感染症・IIT*対策等		青少年活動 等	

👤 履修要件

対象者	要件
JOCV	指定者 ○必修
SV	×

☑ 対応能力・適性

- 青年海外協力隊精神の理解および実践力
- ボランティア基礎力
- ボランティア実務能力
- 異文化（他者）理解・適応力

👤 講師

協力隊技術顧問・技術専門委員・国際協力専門員

それぞれの職種分野別に委嘱され、JICA ボランティアの選考、任国での活動に対する技術的なアドバイスなどを行なっている。

[担当スタッフ：]

達成目標

異文化適応に関する事例から、実際に任地で起こりうる問題や葛藤への対処方法を学ぶ

📖 事例研究の内容

あるボランティアの活動事例をもとに、異文化の中で起こりうる問題や葛藤について、またその対処方法についてグループごとに討論する。

※ 参考講座

- ・ 「BafaBafa」
- ・ 「異文化適応概論」
- ・ 「コミュニケーションスキル」等

👤 履修要件

対象者	要件
JOCV	○必修
SV	×

☑ 対応能力・適性

- 青年海外協力隊精神の理解および実践力
- ボランティア基礎力
- ボランティア実務能力
- 異文化（他者）理解・適応力

👤 進行役

訓練所スタッフ

[担当スタッフ：]